

# 第7章 防災指針

災害ハザードが想定されている範囲を居住誘導区域から除外することは、既に市街地が形成されていることが多く現実的に困難なことが想定されます。このため、居住誘導区域で災害ハザードが想定されているエリアにおいては、災害リスクをできる限り回避あるいは低減させるため、必要な防災・減災対策を計画的に実施していくことが求められます。

このため、防災指針は、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針であり、当該指針に基づく具体的な取組と併せて立地適正化計画に定めるものです。

立地適正化計画作成の手引き（国土交通省）を参照し、以下のフローを基本に防災指針を整理します。

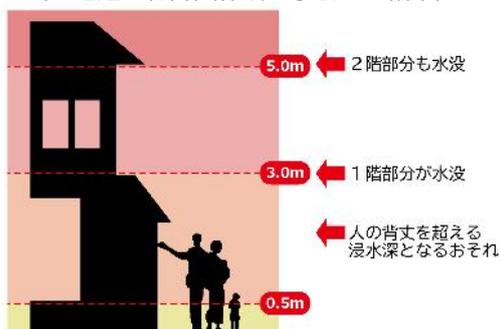
図 防災指針の検討フロー

## 7-1 災害ハザードの整理と防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出

### (1) 災害ハザードの整理

- ・本町において想定している災害ハザードについて、災害種別、発生確率などの情報を収集・整理
- ・水災害については、国資料を参照して浸水深と想定される被害の関連性などを踏まえて整理

浸水深と人的被害リスクイメージ  
(立地適正化計画作成の手引きを編集)



津波浸水深に関する参考指標（南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（H24年））

浸水深	想定される被害など
3m	木造家屋のほとんどが全壊する
2m	木造家屋の半数が全壊する
1m	津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなる
0.3m	避難行動がとれなく（動くことができなく）なる

### (2) 災害ハザードが想定される地域の抽出

- ・災害ハザード情報の整理を踏まえて災害ハザードが想定される地域を抽出

### (3) 地域ごとの防災上の課題の整理

- ・抽出した地域について、災害種別に防災上の課題を整理

## 7-2 防災まちづくり取組方針の検討

### (1) 防災まちづくりの考え方の整理

- ・防災上の課題を踏まえた防災まちづくりの考え方を整理

### (2) 取組方針

- ・防災まちづくりに基づき取組方針を整理

## 7-3 具体的な取組、スケジュール

- ・具体的な取組及びスケジュール（短期・中期・長期）を整理

※目標値は評価指標で設定

## 7-1 災害ハザードの整理と防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出

## (1) 災害ハザードの整理

本町において想定されている災害ハザード情報は以下のようなものがあります。

表 本町において想定されている災害ハザード情報

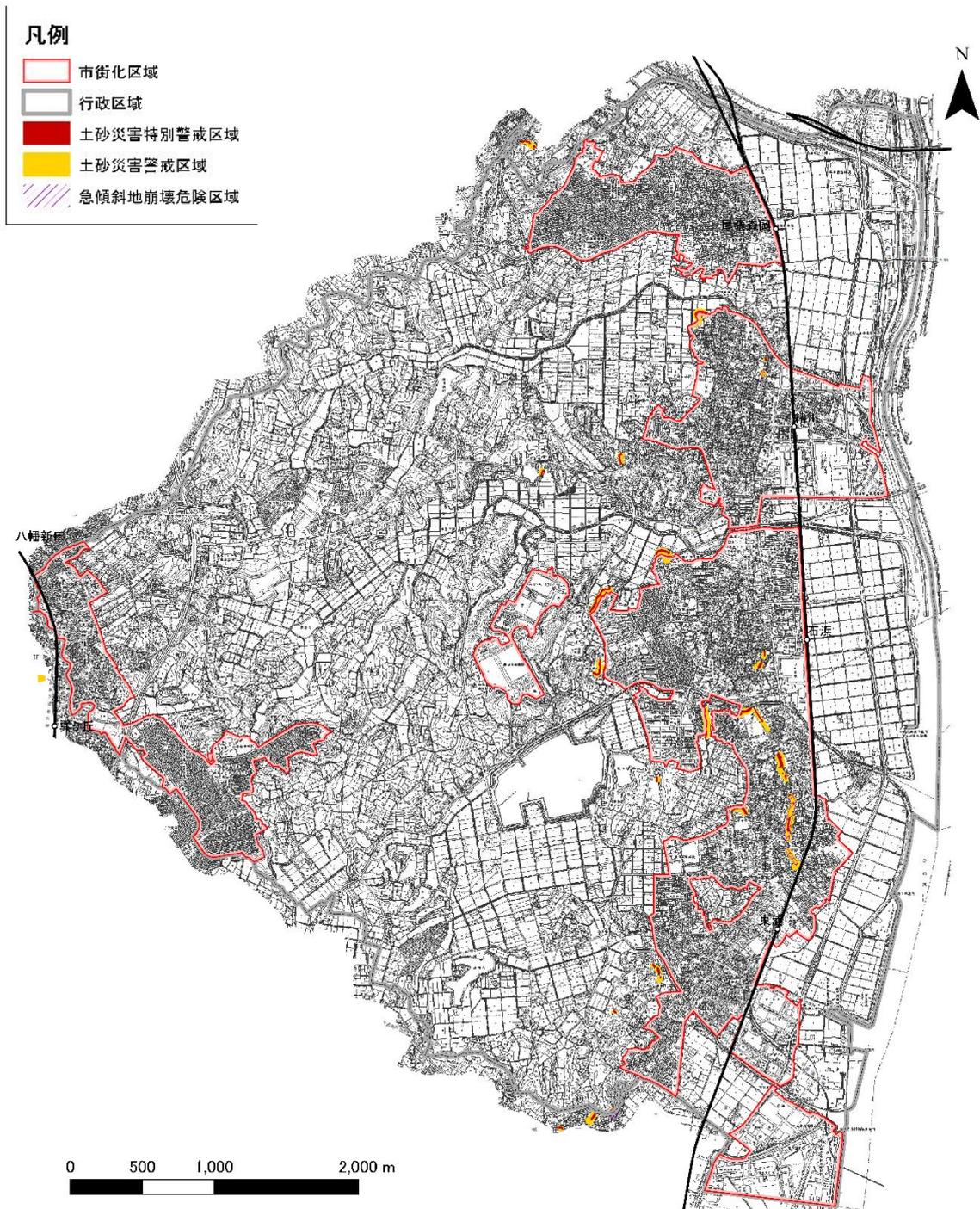
種別	発生確率・規模	区域
土砂災害	—	土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域 急傾斜地崩壊危険区域
	—	(参考)大規模盛土造成地 ※以下のいずれかに該当するもの 谷埋め型…谷を埋めて、平坦面を確保した造成宅地で、盛土の面積が 3,000 m <sup>2</sup> 以上のもの 腹付け型…傾斜地に盛土した造成宅地で、地山(盛土前の地盤)が 20 度以上、かつ盛土の高さが 5m 以上のもの
水災害	L1	洪水浸水想定区域(計画規模) ※河川整備において基本となる降雨による浸水(100年に一度の確率) ※シミュレーションの前提となる 24 時間総雨量:境川流域 411 mm、逢妻川流域 410 mm ※水防法で指定された河川において作成する浸水想定区域に加えて、水防法の指定区間外(上流部や支川)について作成された浸水予想図(境川、阿久比川 鎌池川)を含む
		(参考)高潮浸水想定区域(伊勢湾台風規模) ※伊勢湾台風規模(50~150年に一度の確率)による浸水 ※中心気圧 940hPa で、高潮偏差が最大となる代表台風コースを通り、海岸堤防などの構造物については、決壊しない条件でシミュレーション
		(参考)内水浸水想定区域 ※100年に一度の確率の降雨 ※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果
		(参考)内水浸水想定区域 ※10年に一度の確率の降雨 ※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果
		L2
	洪水浸水想定区域(想定最大規模) ※想定し得る最大規模の降雨(千年に一度の確率)による浸水 ※シミュレーションの前提となる 24 時間総雨量:境川流域 760 mm、逢妻川流域 765 mm ※水防法で指定された河川において作成する浸水想定区域に加えて、水防法の指定区間外(上流部や支川)について作成された浸水予想図(境川、阿久比川 鎌池川)を含む	
	津波災害警戒区域 ※最大クラス(千年以上に一度の確率)の津波を対象に浸水の区域及び水深を設定 ※内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」公表(H24.8.29)の想定地震津波(マグニチュード 9.1)を想定	
	高潮浸水想定区域(想定最大規模) ※室戸台風規模(5百年から数千年に一度の確率)による浸水 ※中心気圧 910hPa で、高潮偏差が最大となる代表台風コースを通り、海岸堤防などの構造物が設計条件に達した時点で決壊する条件でシミュレーション	
	(参考)内水浸水想定区域(想定最大) ※想定し得る最大規模の降雨(千年に一度の確率) ※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果	
	—	(参考)ため池浸水想定区域 ※満水の水が溜まっているため池の堤体が決壊した場合の浸水

L1	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水は各河川整備における計画に定められた規模の災害(計画規模)</li> <li>高潮は過去に発生した最大規模の災害(伊勢湾台風規模)</li> <li>内水は10年~100年に1度の確率で発生する降雨による災害</li> </ul>
L2	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水、津波、高潮、内水における発生頻度は低いものの、想定し得る最大規模の災害</li> </ul>

## ■土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域

土砂災害が想定されている地区は町東部の市街化調整区域に分布する傾向にありますが、市街化区域の一部でも見られ、また、住宅も立地しています。

図 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域

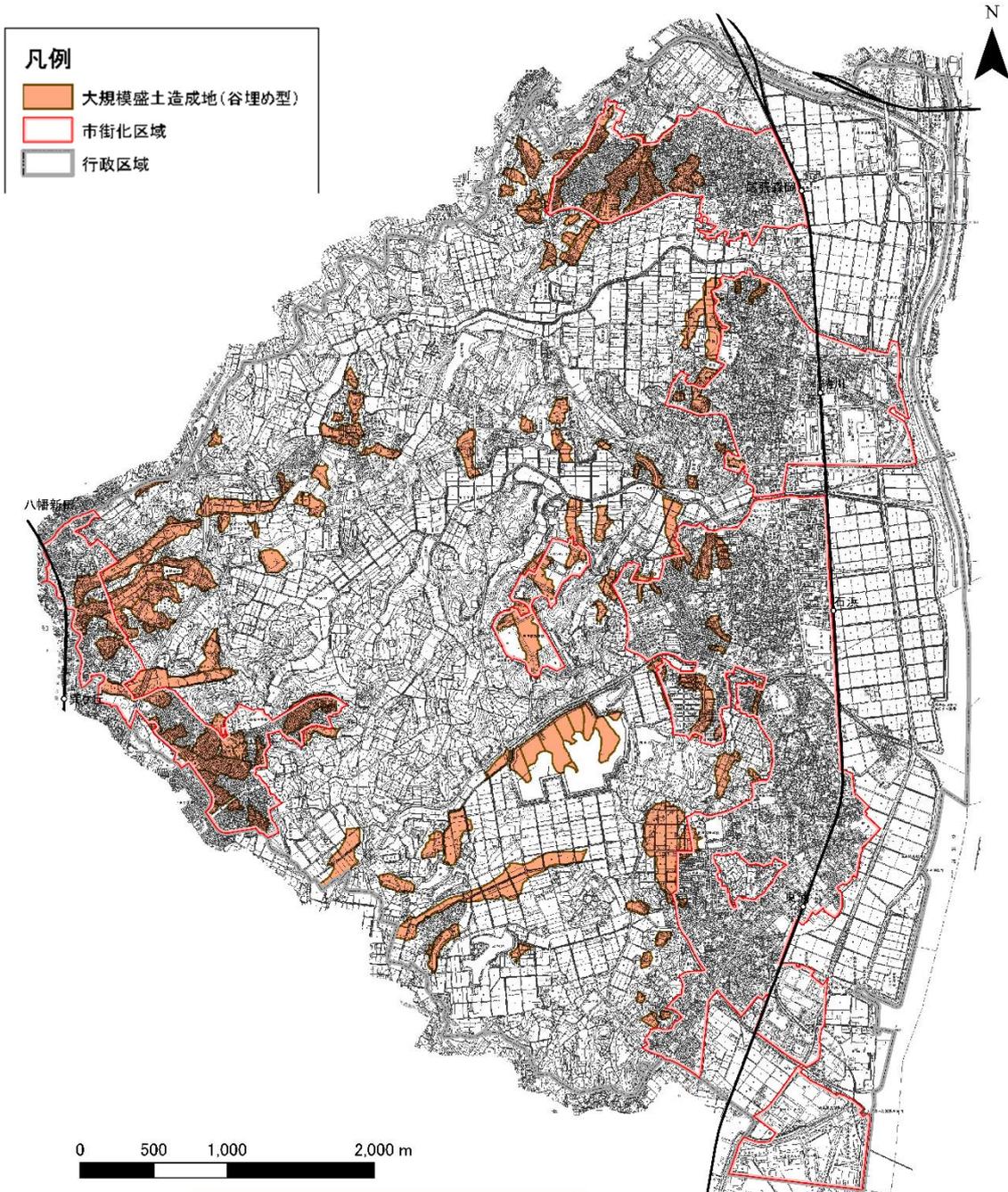


【資料: 愛知県オープンデータ】

(参考) 大規模盛土造成地

今後調査を実施していく大規模盛土造成地は、本町全域に分布しており、市街化区域の住宅団地においてもみられます。なお、下図は平成 28 年度実施の第一次スクリーニング（地形図を重ね合わせて標高を比較することにより抽出）のものであり、今後さらに調査を実施していきます。

図 大規模盛土造成地



【谷埋め型】  
谷を埋めて、平坦面を確保した造成宅地で、盛土の面積が3,000m<sup>2</sup>以上のもの。

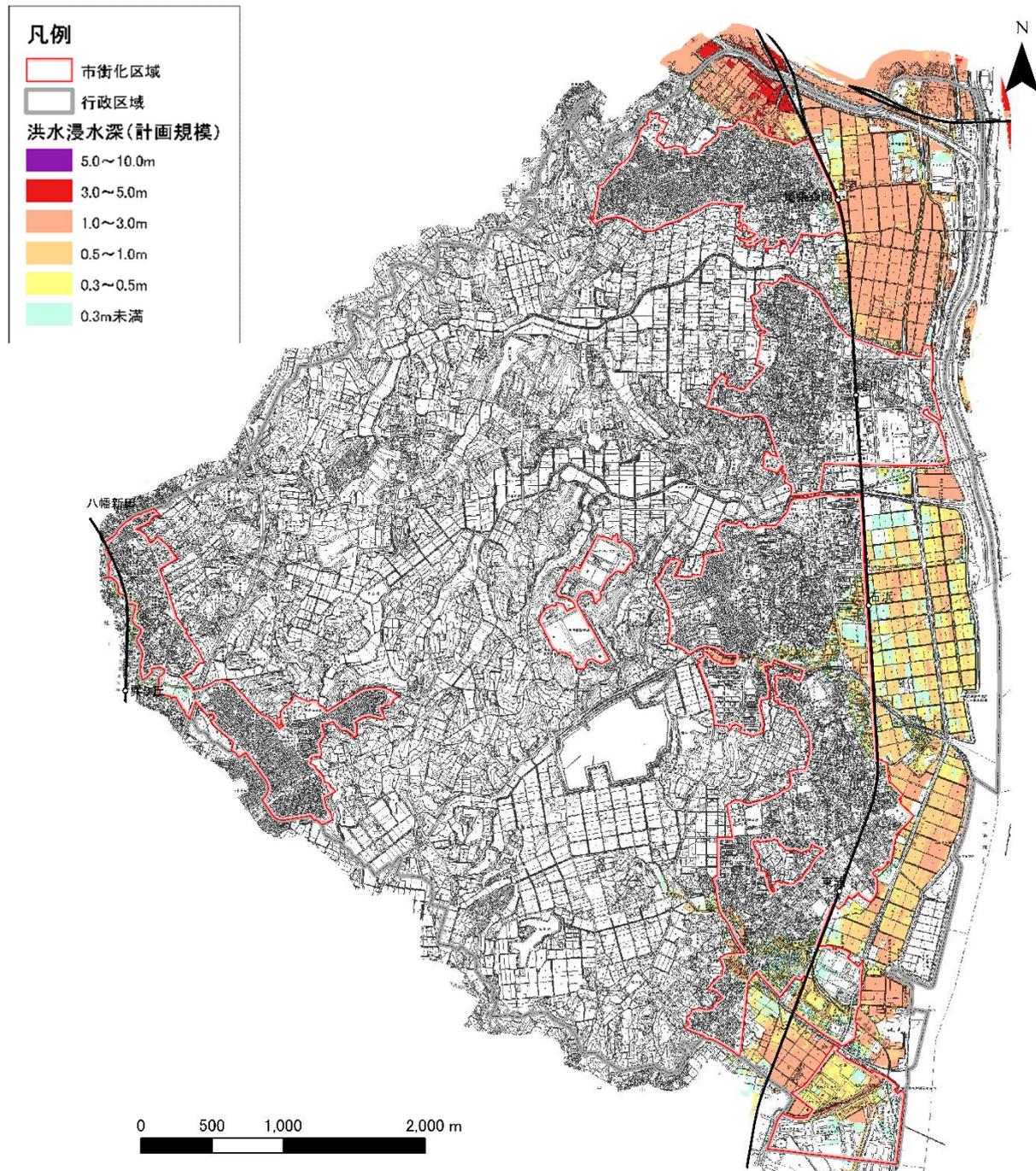
【資料:町資料】

※大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドラインの解説(国土交通省)より

## ■洪水浸水想定区域（計画規模）

町東部の鉄道東側の市街化調整区域を中心に浸水想定区域が広がっています。また、床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m以上の浸水想定区域が市街化区域の一部で見られます。ハード整備には長期間を要するため、それまでの間は想定される浸水に対する対策が必要です。

図 洪水浸水想定区域（計画規模）



※河川整備において基本となる降雨による浸水(100年に一度の確率)

※シミュレーションの前提となる24時間総雨量:境川流域411mm、逢妻川流域410mm

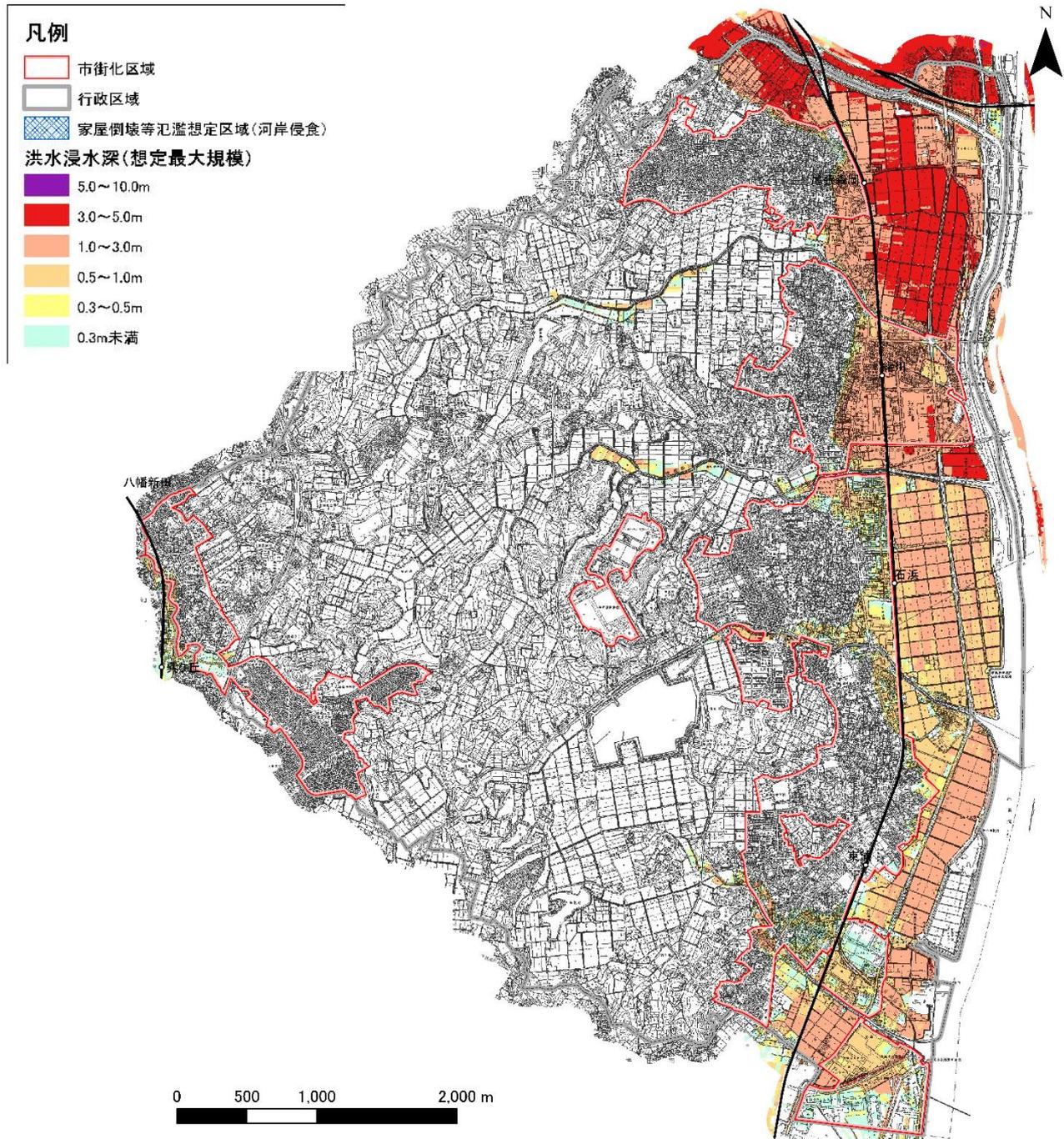
※水防法で指定された河川において作成する浸水想定区域に加えて、水防法の指定区間外(上流部や支川)について作成された浸水予想図(境川、阿久比川、鎌池川)についても図示

【資料:愛知県資料】

### ■洪水浸水想定区域（想定最大規模）

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域となっています。計画規模と比較して鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっています。床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m以上の浸水想定区域が鉄道駅西側の市街化区域にもみられますが、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水は市街化区域ではほとんどみられません。一方、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）が町内を流れる各河川沿いの地域でみられ、一部で住宅も立地しています。

図 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



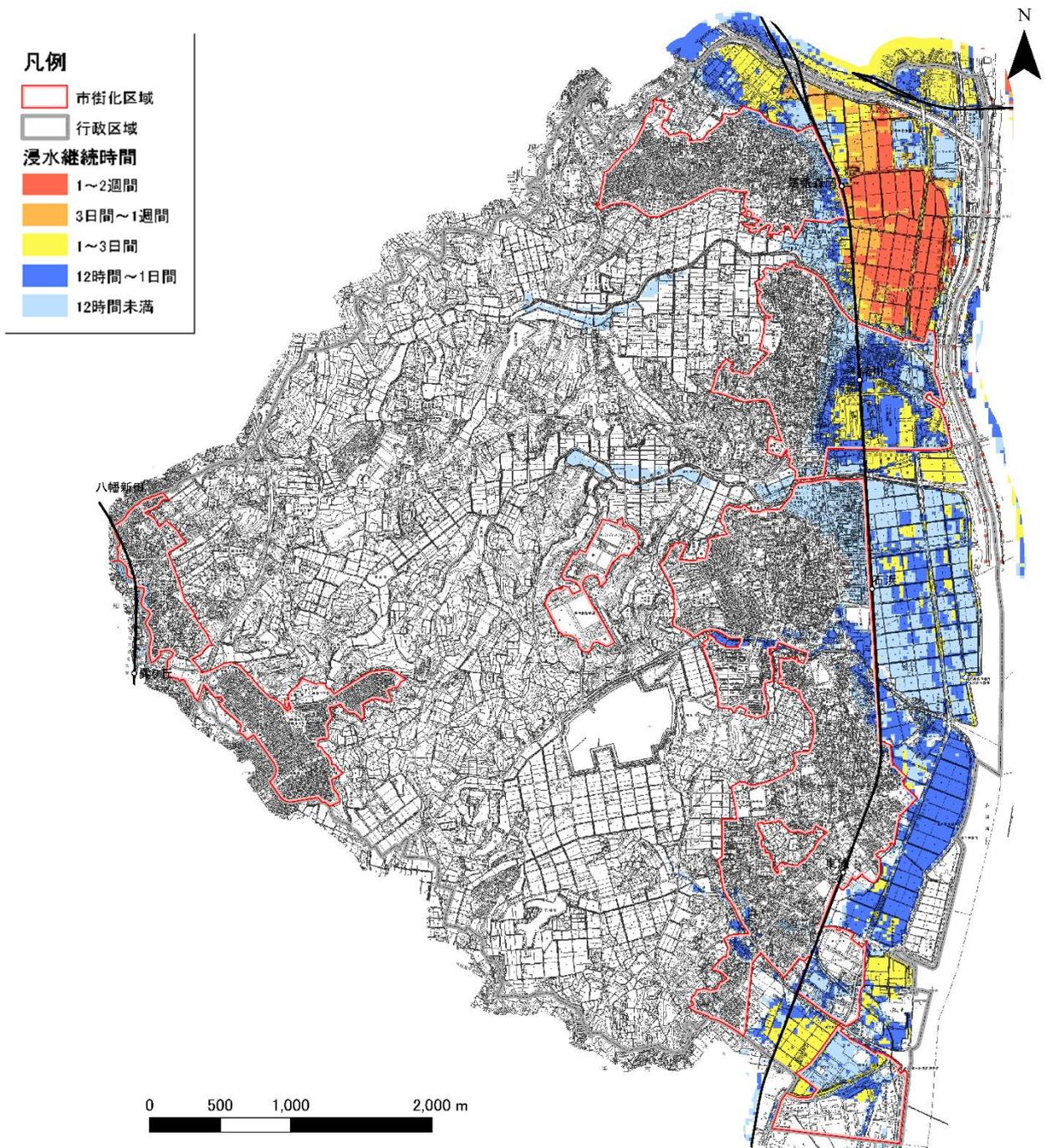
※想定し得る最大規模の降雨(千年に一度の確率)による浸水  
 ※シミュレーションの前提となる 24 時間総雨量:境川流域 760 mm、逢妻川流域 765 mm  
 ※水防法で指定された河川において作成する浸水想定区域に加えて、水防法の指定区間外(上流部や支川)について作成された浸水予想図(境川、阿久比川 鎌池川)を含む

【資料:愛知県資料】

■洪水浸水想定区域（想定最大規模：浸水継続時間）

想定最大規模の洪水による浸水深 0.5m 以上の浸水想定区域における浸水継続時間をみると、JR 尾張森岡駅周辺の市街化調整区域の農地では 3 日～2 週間と長期の浸水が予想されています。市街化区域では、JR 緒川駅周辺で 1～3 日間の浸水が予想されていますが、健康障害の発生や最悪の場合は生命の危機が生じる恐れがあるとされる 3 日以上の孤立が想定される市街地はみられません。

図 洪水浸水想定区域（想定最大規模：浸水継続時間）



※想定し得る最大規模の降雨(千年に一度の確率)による浸水が継続する時間

※浸水継続時間:浸水深 0.5m以上が継続する時間

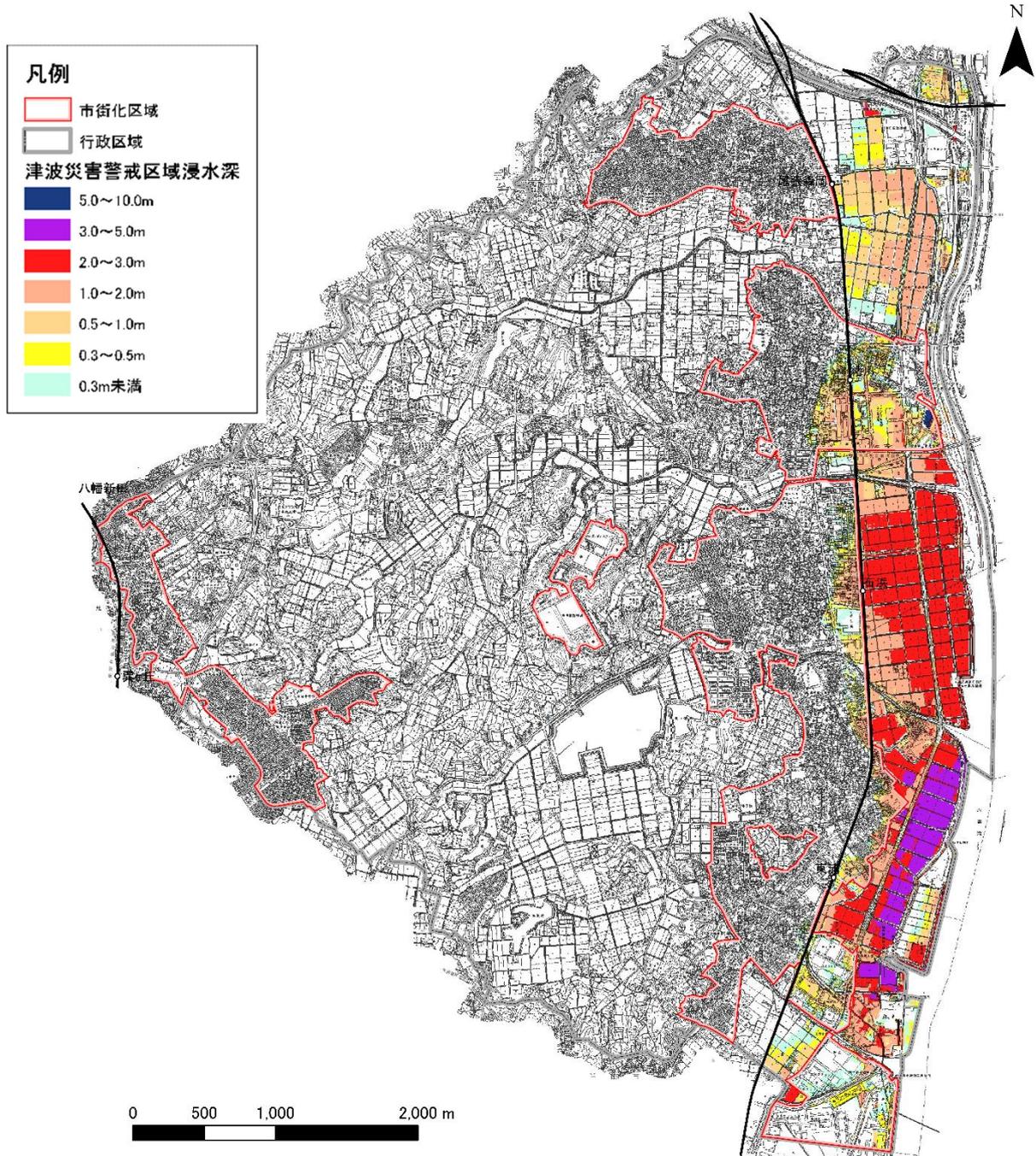
【資料:愛知県資料】

## ■津波災害警戒区域

町東部の鉄道東側の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられます。津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなるとされる浸水深 1.0m以上の浸水想定区域が鉄道西側の市街化区域にもみられますが、木造家屋の半数が全壊する目安となる浸水深 2.0m以上の浸水は市街化区域内ではほとんどみられません。

一方、想定される津波は、地震発生からの津波到達時間が約 83 分となっています。

図 津波災害警戒区域



※最大クラス(千年以上に一度の確率)の津波を対象に浸水の区域及び水深を設定

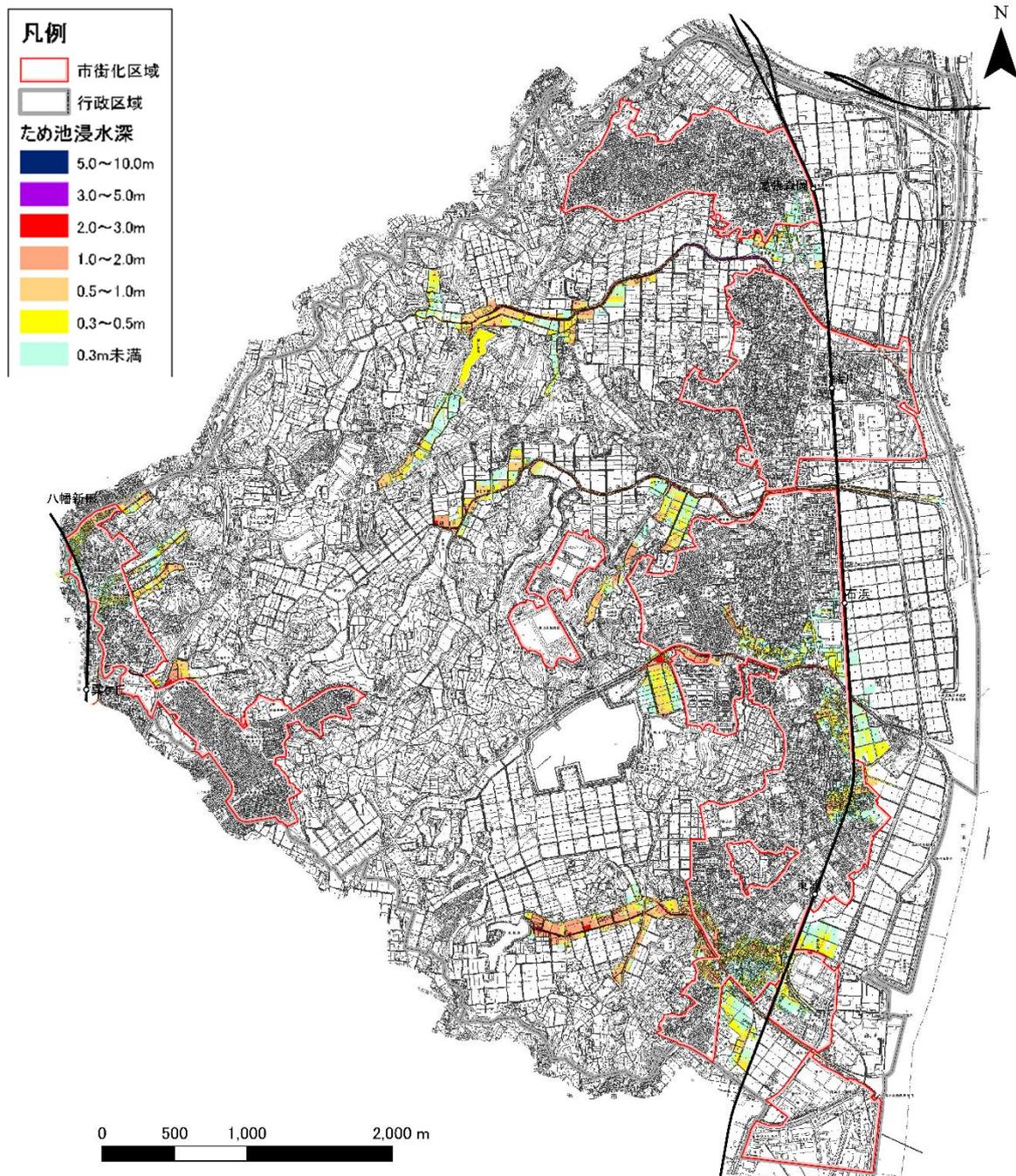
※内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」公表(H24.8.29)の想定地震津波(マグニチュード 9.1)を想定

【資料:愛知県資料】

**(参考) ため池浸水想定区域**

ため池は町中央の丘陵部を中心に分布し、ため池の堤体が決壊した場合の浸水は農地を中心にみられますが、市街化区域の一部まで浸水が到達することが想定されます。

図 ため池浸水想定区域



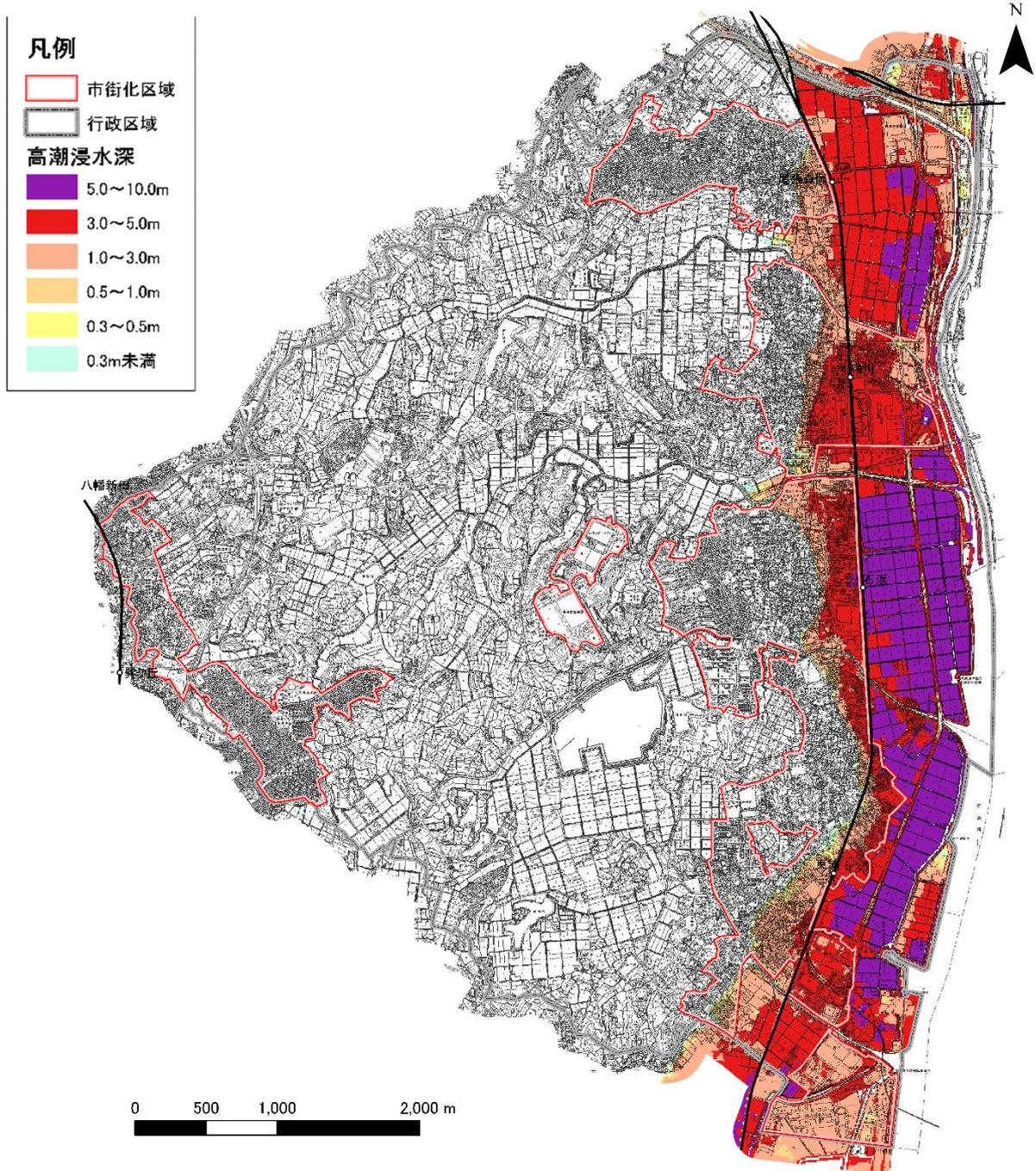
※満水の水が溜まっているため池の堤体が決壊した場合の浸水

【資料:町資料】

■高潮浸水想定区域（想定最大規模：室戸台風規模）

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられ、鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっています。また、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水が鉄道西側の市街化区域においてもみられ、都市拠点に位置付けられた JR 緒川駅をはじめ、生活の拠点となる鉄道駅周辺の市街地でも深い浸水深が想定されています。

図 高潮浸水想定区域（想定最大規模：室戸台風規模）



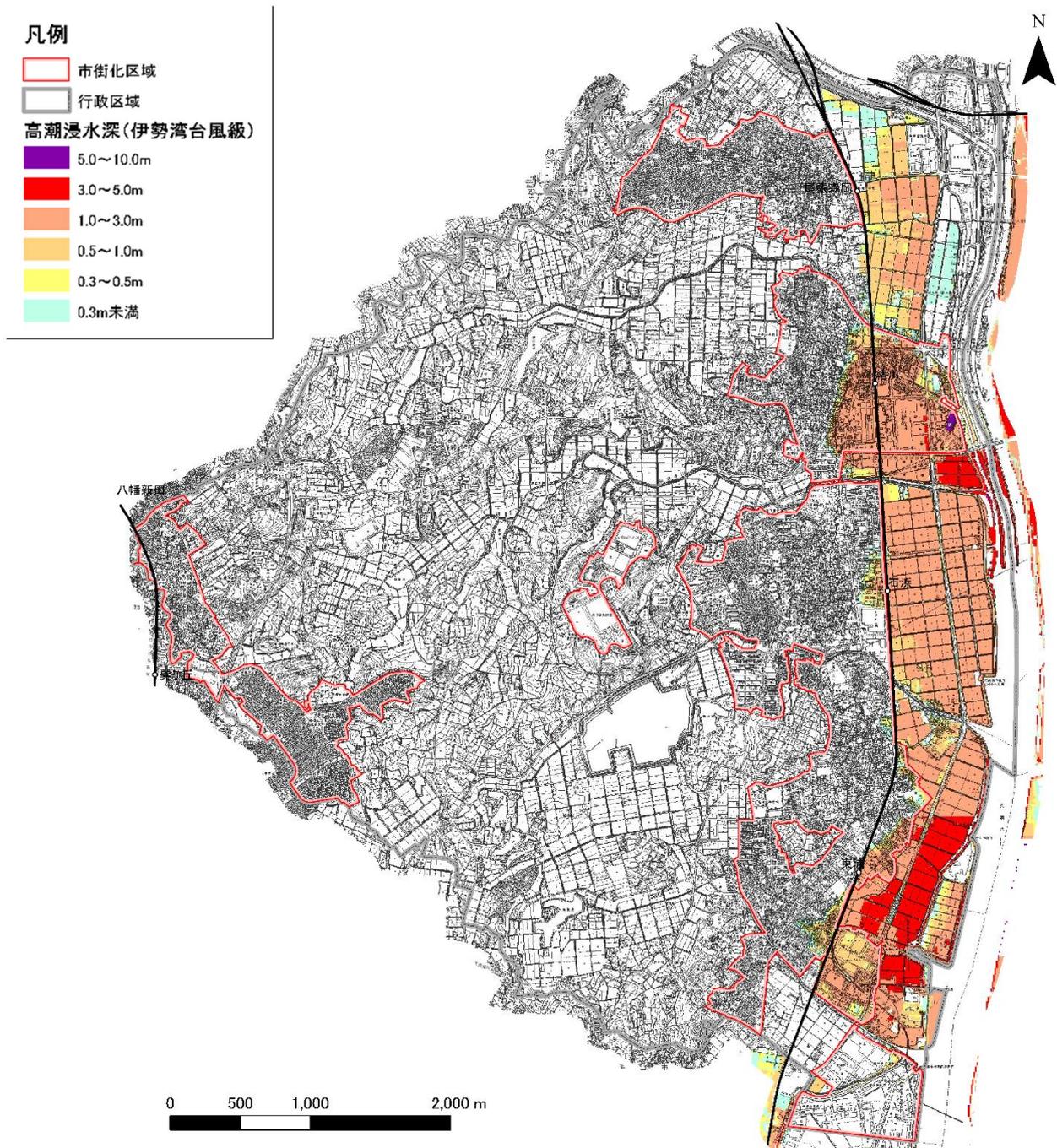
※室戸台風規模(5百年から数千年に一度の確率)による浸水  
 ※中心気圧 910hPa で、高潮偏差が最大となる代表台風コースを通り、海岸堤防などの構造物が設計条件に達した時点で決壊する条件でシミュレーション

【資料：愛知県資料】

### (参考) 高潮浸水想定区域 (伊勢湾台風規模)

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられ、鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっている地域もありますが、室戸台風規模の高潮浸水想定区域と比較するとその範囲は一部にとどまっています。また、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水は市街化区域ではほとんどみられません。

図 高潮浸水想定区域 (伊勢湾台風規模)



※伊勢湾台風規模(50~150年に一度の確率)による浸水

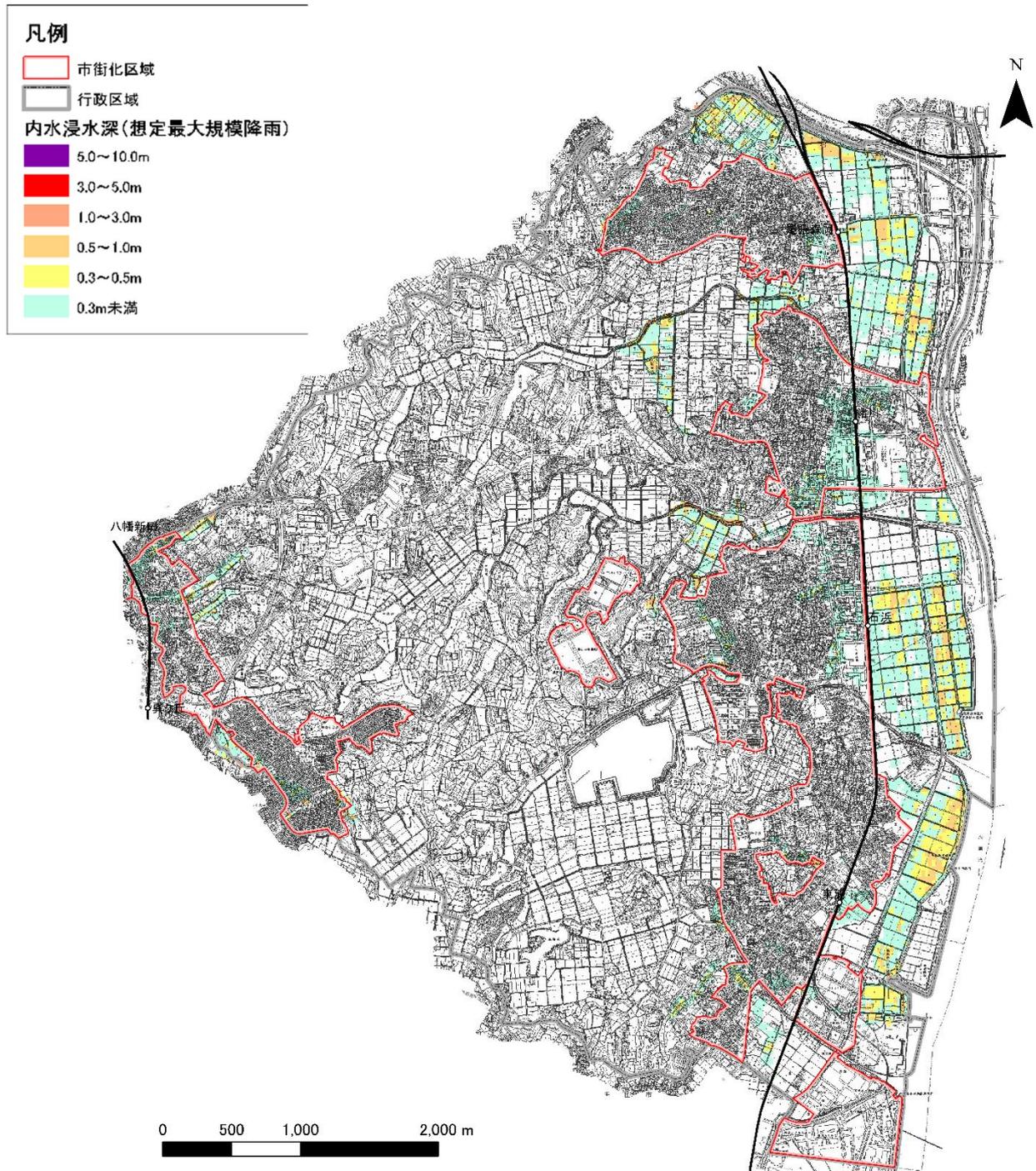
※中心気圧 940hPa で、高潮偏差が最大となる代表台風コースを通り、海岸堤防などの構造物については、決壊しない条件でシミュレーション

【資料:愛知県資料】

(参考) 内水浸水想定区域 (想定最大規模)

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられますが、市街化区域の一部においても浸水深 0.3m未滿の浸水が想定される箇所が多く分布しています。

図 内水浸水想定区域 (想定最大規模)



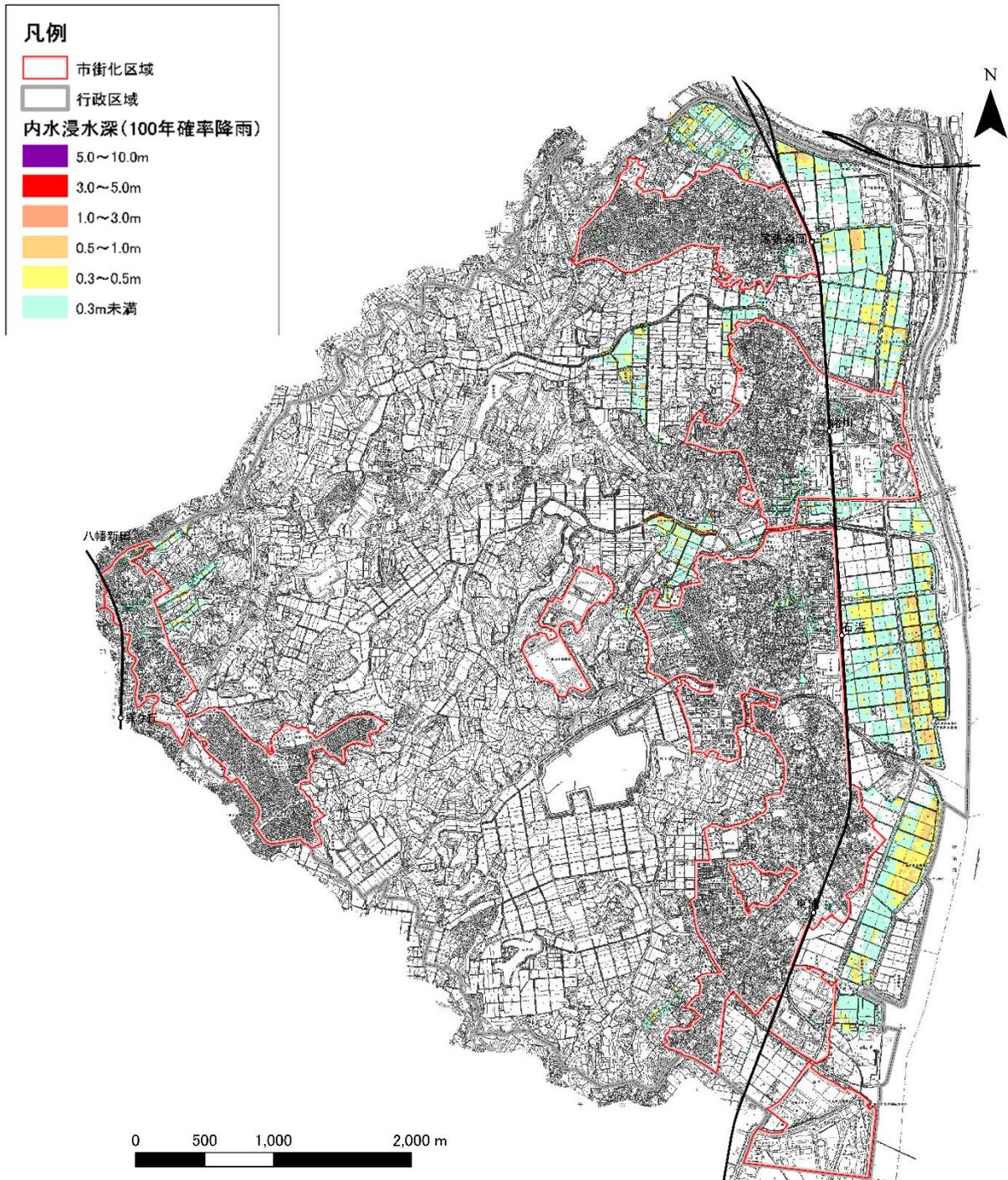
※想定し得る最大規模の降雨(千年に一度の確率)  
 ※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果

【資料:町資料】

**(参考) 内水浸水想定区域 (100年に一度の確率の降雨)**

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられますが、市街化区域の一部においても浸水深 0.3m未滿の浸水が想定される箇所が分布しています。

図 内水浸水想定区域 (100年に一度の確率の降雨)



※100年に一度の確率の降雨

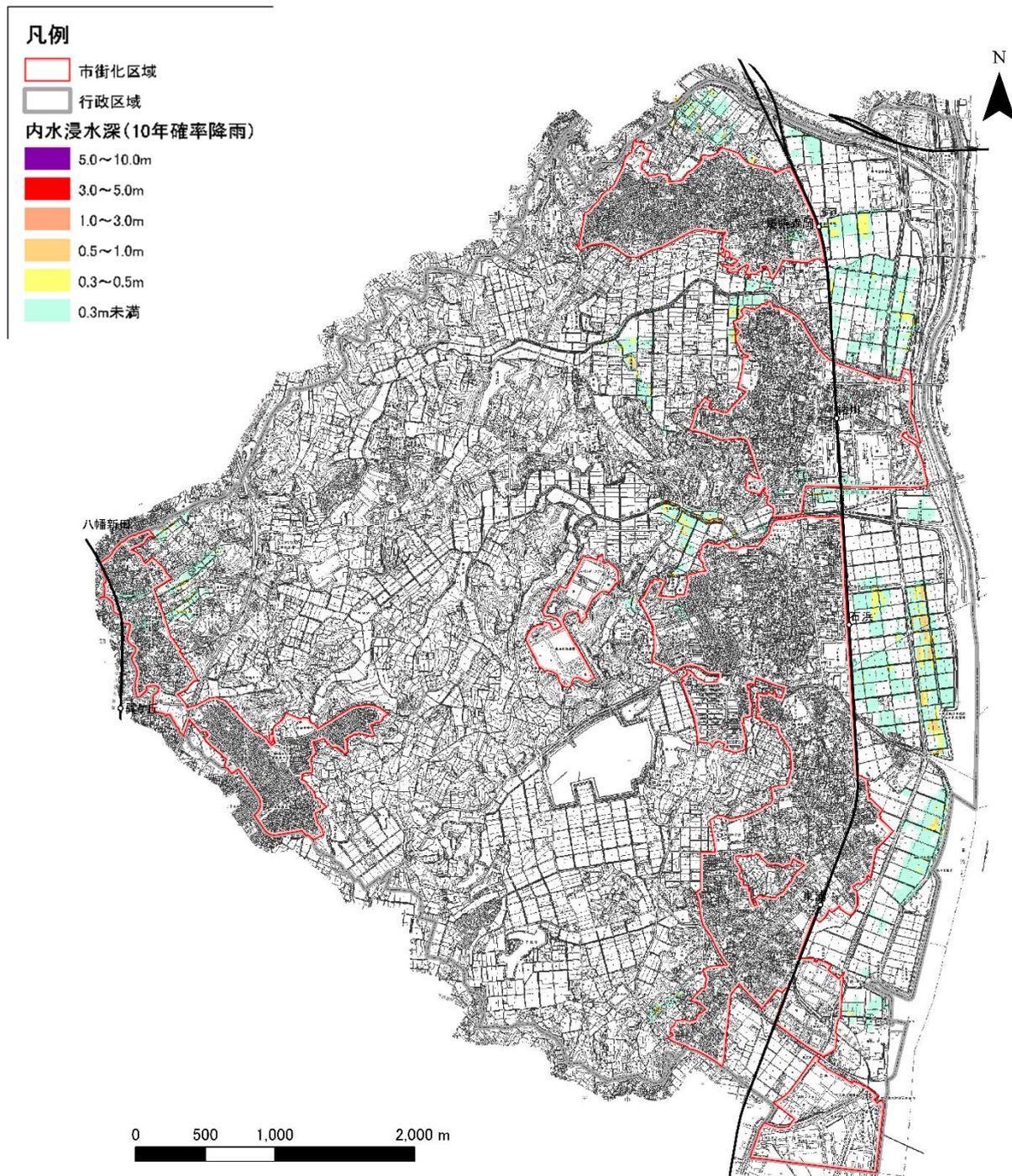
※出典:東浦町上下水道課によるシミュレーション結果

【資料:町資料】

(参考) 内水浸水想定区域 (10年に一度の確率の降雨)

町東部の市街化調整区域に浸水想定区域がみられますが、市街化区域において浸水が想定される箇所はほとんどみられません。

図 内水浸水想定区域 (10年に一度の確率の降雨)



※10年に一度の確率の降雨

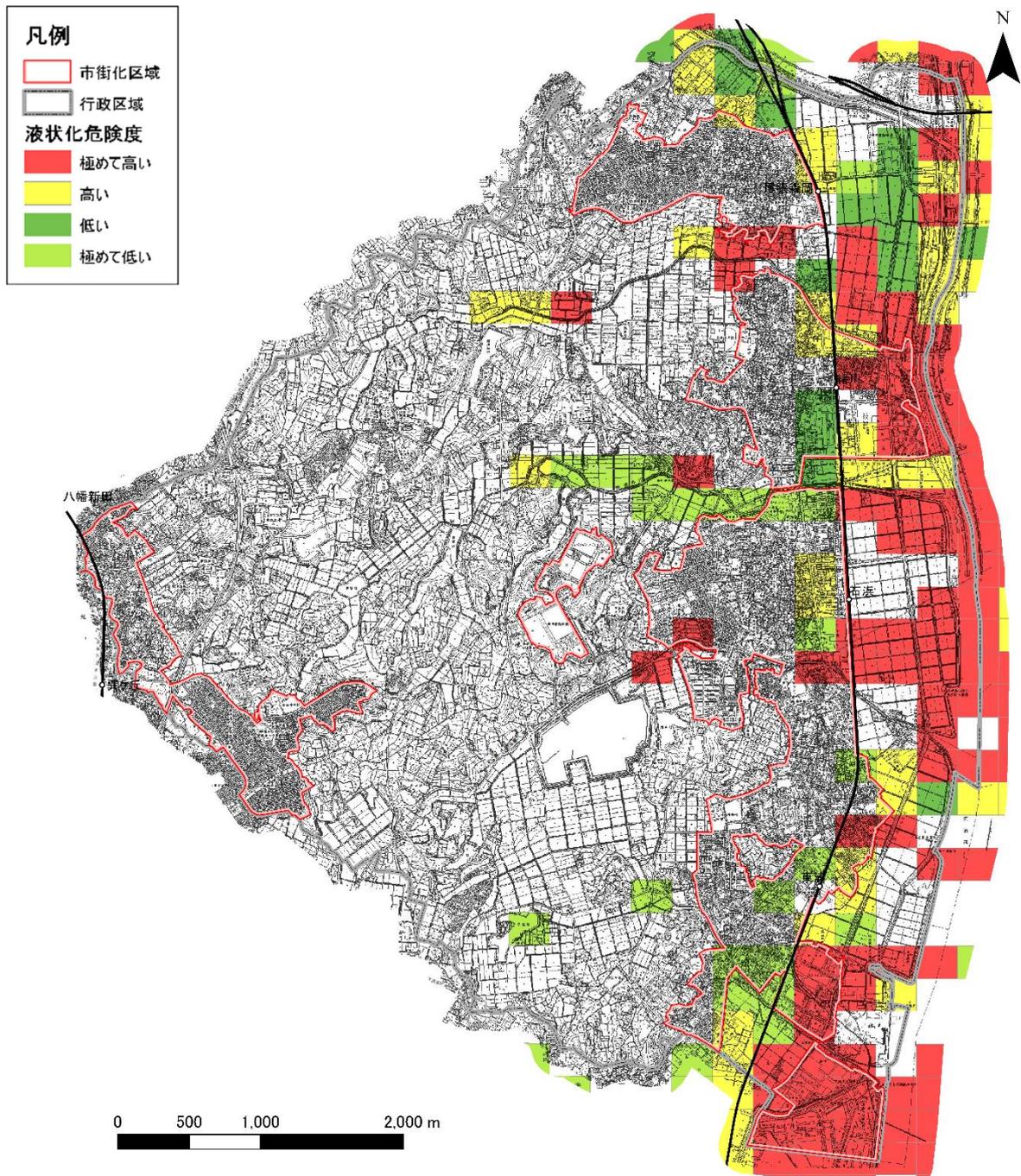
※出典: 東浦町上下水道課によるシミュレーション結果

【資料: 町資料】

### (参考) 液状化危険度

境川沿いの地域やその他の小河川沿いの地域で液状化が発生する可能性が高いと予想されています。特に境川周辺では液状化危険度が極めて高い地域が広範囲に広がっており、一部市街地とも重複しています。

図 液状化（南海トラフ地震陸側ケース）



※「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測(平成 26(2014)年5月30日)」による予測結果

【資料:愛知県資料】

## ■本町における災害ハザードのまとめ

以下に本町における災害ハザードについて整理します。

### 土砂災害

- 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域は、町東部の市街化調整区域に分布する傾向にありますが、市街化区域の一部でも見られ、また、住宅も立地しています。
- 大規模盛土造成地は、本町全域に分布しており、市街化区域の住宅団地においてもみられるため、その危険性を今後調査することとなっています。

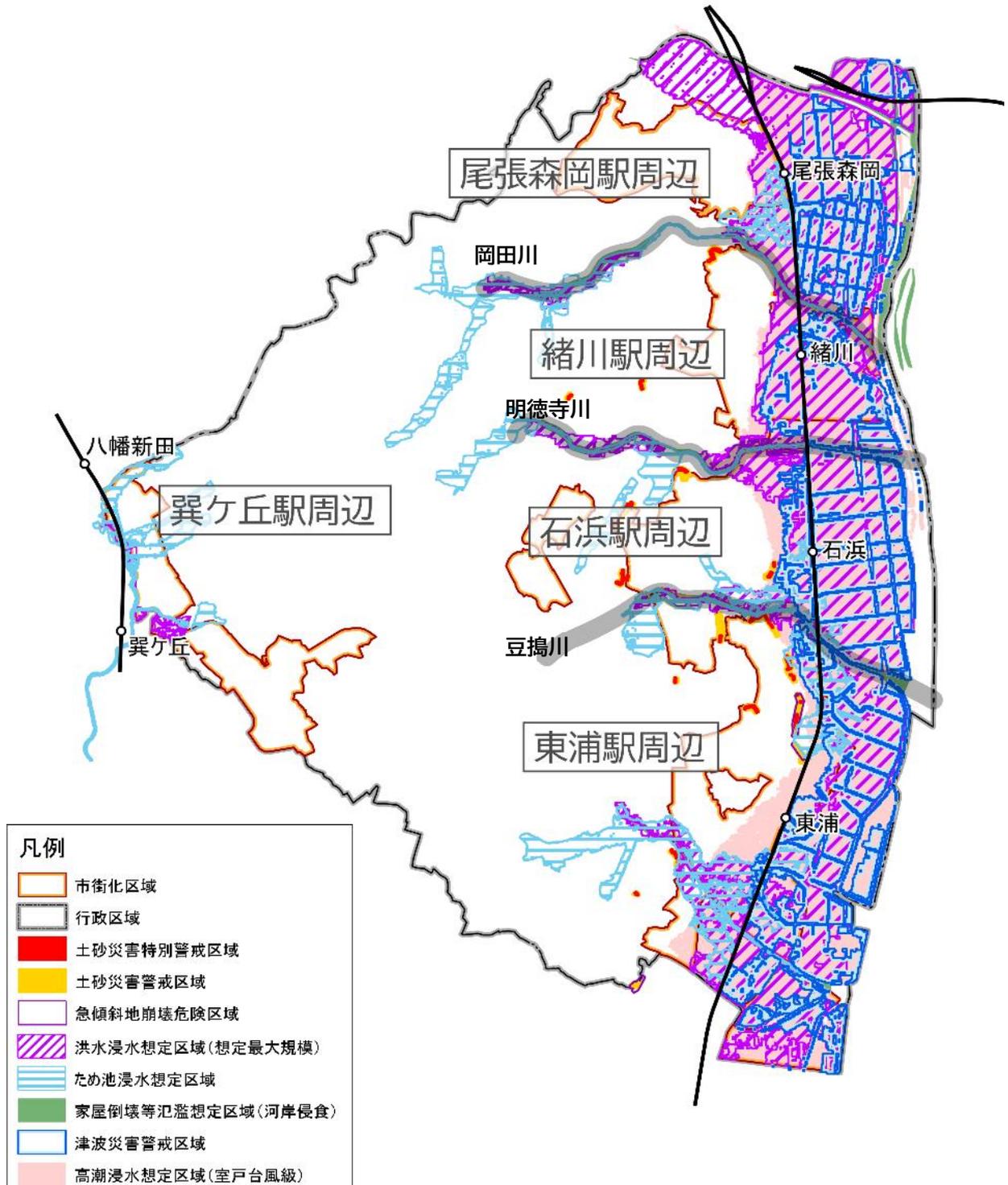
### 水害

- 発生確率が高い（L1）災害ハザード（洪水：計画規模、高潮：伊勢湾台風級）については、2階以上への垂直避難が困難となる浸水深 3.0m以上の浸水はほとんどみられず、浸水想定区域も想定最大規模と比較すると限定的となっています。
- 発生確率が低い（L2）災害ハザードについては、洪水及び高潮による浸水が町東部の広い範囲で想定され、高潮については浸水深も2階以上への垂直避難が困難となる浸水深 3.0m以上の箇所がみられ、事前の避難行動が必要な状況となっています。

## (2) 災害ハザードが想定されている地域の抽出

災害ハザードの整理を踏まえ、市街化区域内において土砂災害が想定される地区及び想定最大規模(L2)の水災害が想定される区域を抽出することとし、浸水想定区域が町東部の南北に広範囲に広がっていることから、町内を流れる河川により区分します。これにより下図の5地区を災害ハザードが想定されている地域として抽出します。

図 災害ハザードの重ね合わせ図

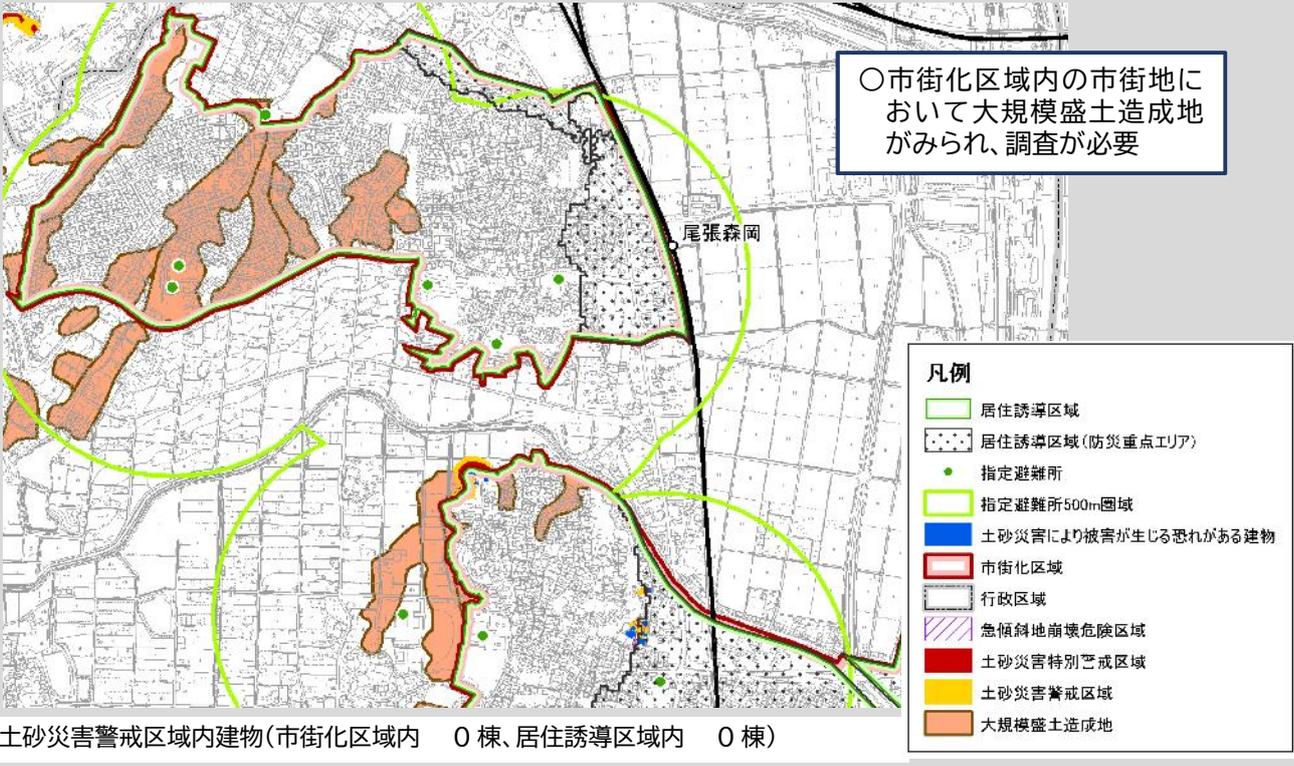


### (3) 地域ごとの防災上の課題の整理

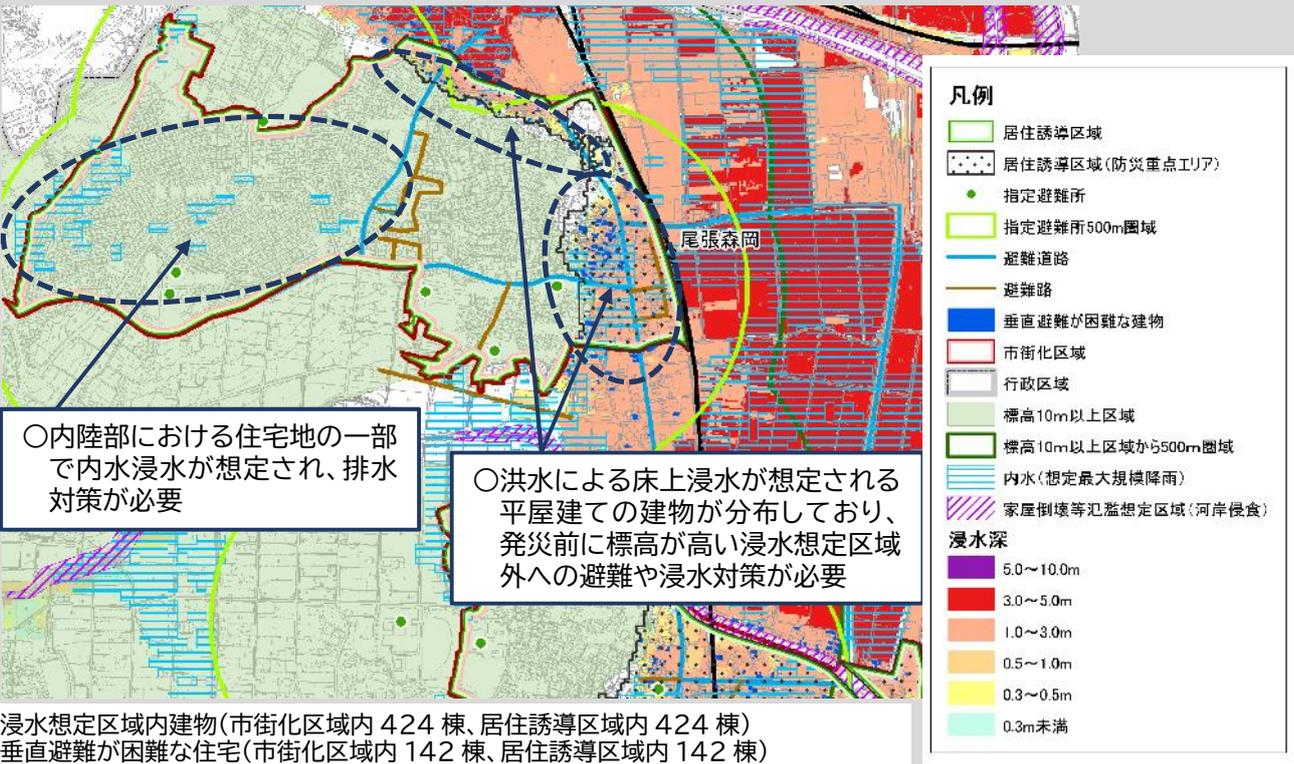
#### ① JR 尾張森岡駅周辺

JR 尾張森岡駅周辺の市街化区域では土砂災害が想定されている地区はみられません。一方、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に洪水、高潮の浸水深が高い傾向にあります。

#### ■土砂災害(土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域・大規模盛土造成地)

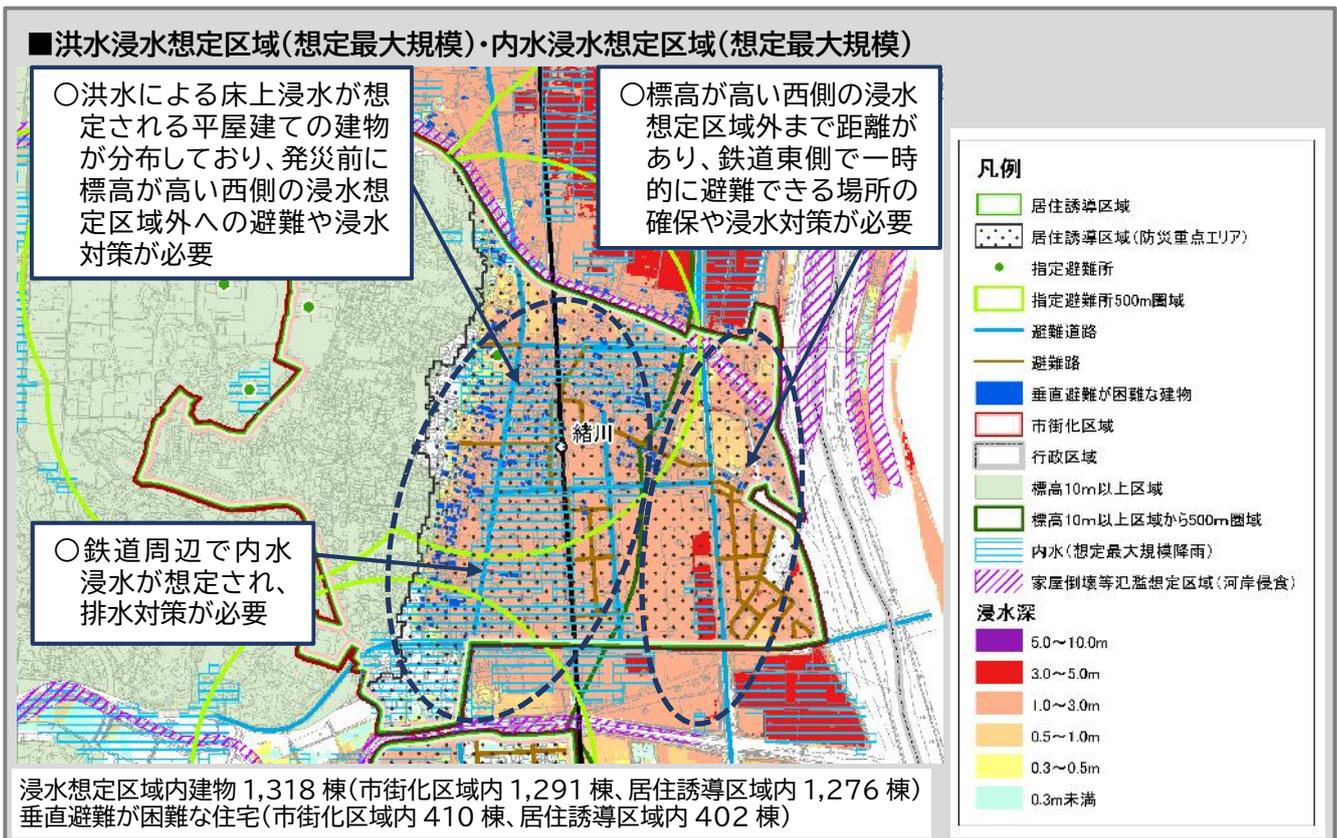
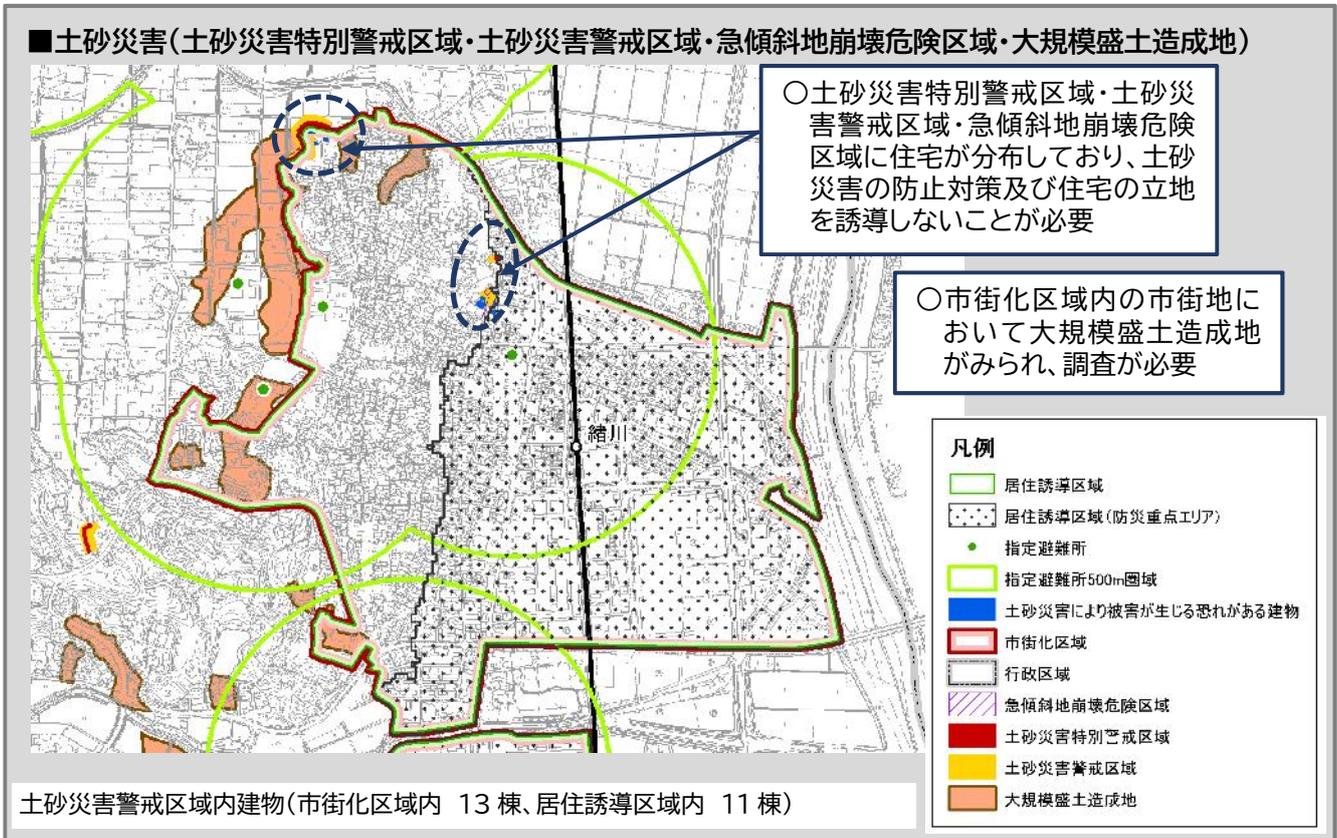


#### ■洪水浸水想定区域(想定最大規模)・内水浸水想定区域(想定最大規模)



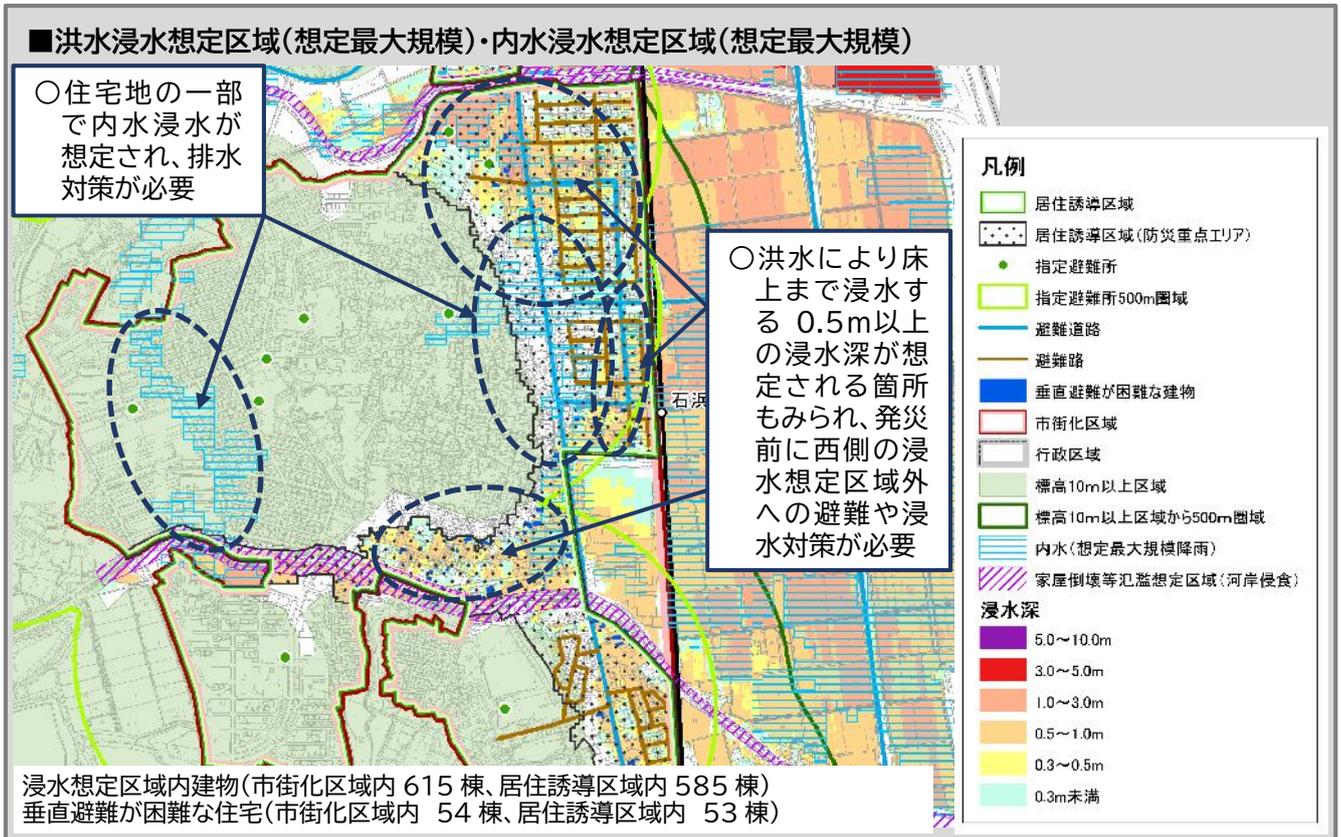
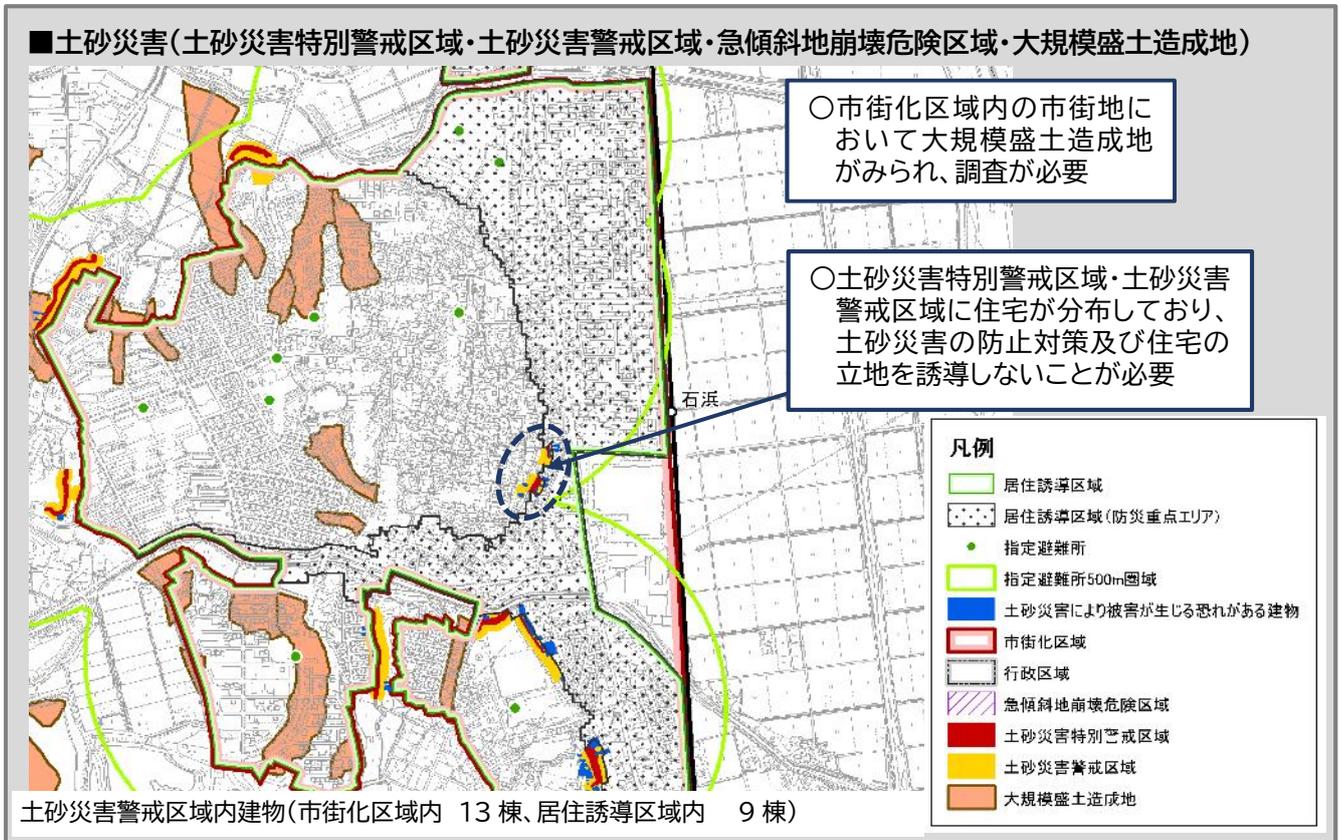
② JR 緒川駅周辺

JR 緒川駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害が想定されている地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に洪水、高潮の浸水深が高い傾向にあります。



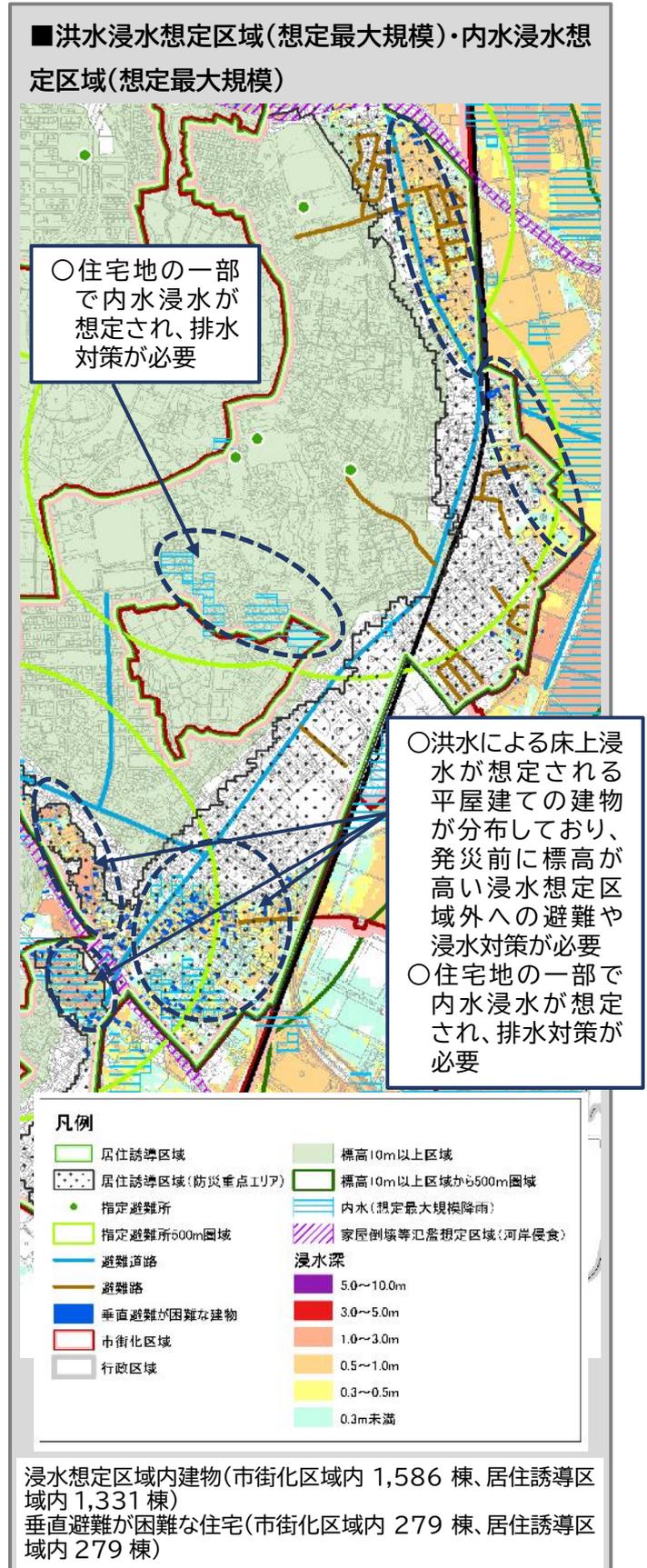
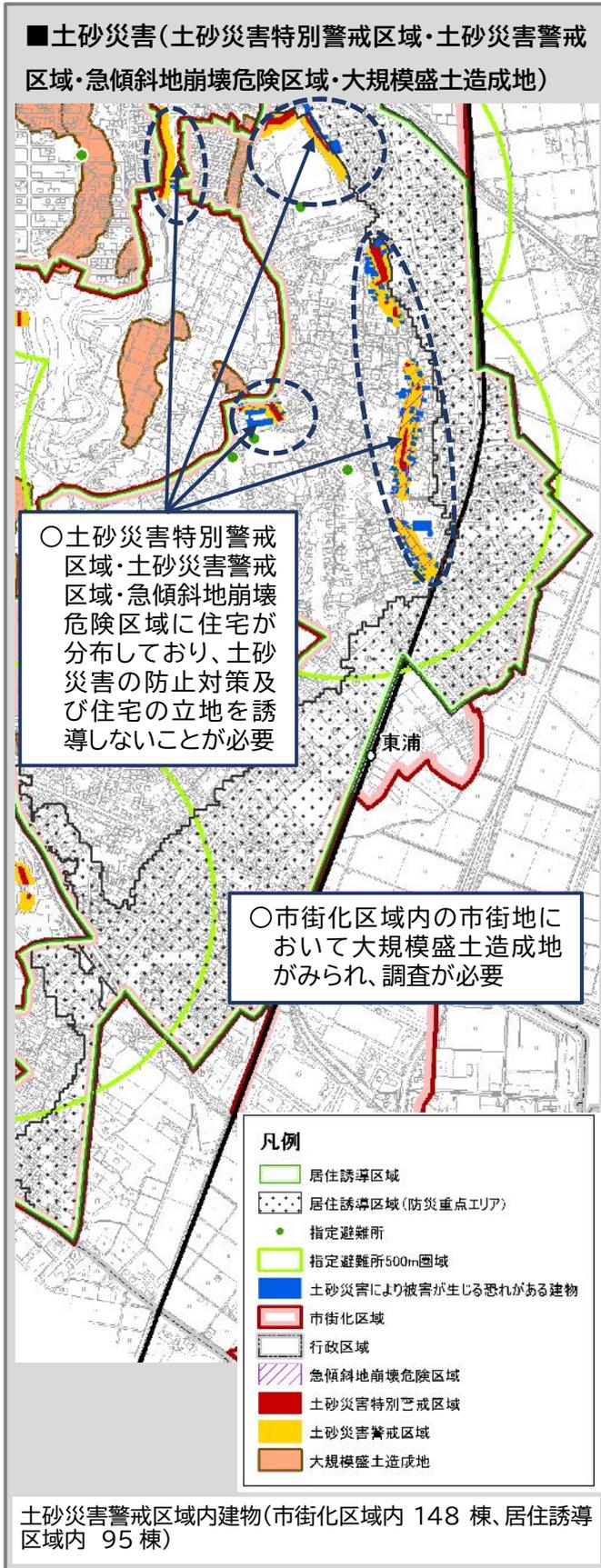
### ③ JR 石浜駅周辺

JR 石浜駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害が想定されている地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に高潮の浸水深が高い傾向にあります。さらに、ため池浸水想定区域も一部で見られます。



④ JR 東浦駅周辺

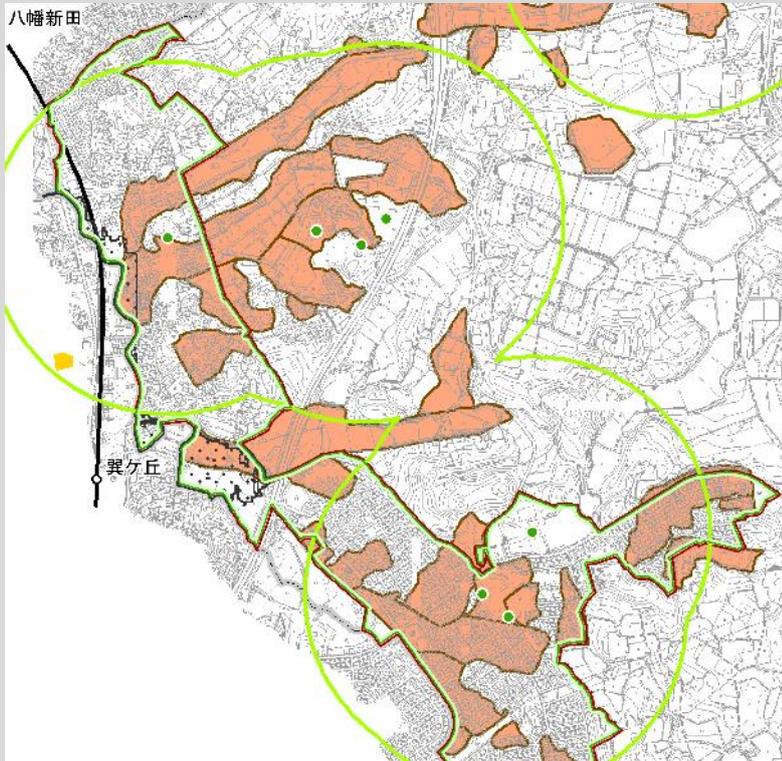
JR 東浦駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害が想定されている地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に高潮の浸水深が高い傾向にあります。さらに、ため池浸水想定区域も一部で見られます。



⑤ 名鉄巽ヶ丘駅周辺

名鉄巽ヶ丘駅周辺の市街化区域では土砂災害及び高潮浸水が想定されている地区はみられません。一方、洪水による浸水が一部で想定されるとともに、ため池浸水想定区域もみられます。

■土砂災害(土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域・大規模盛土造成地)

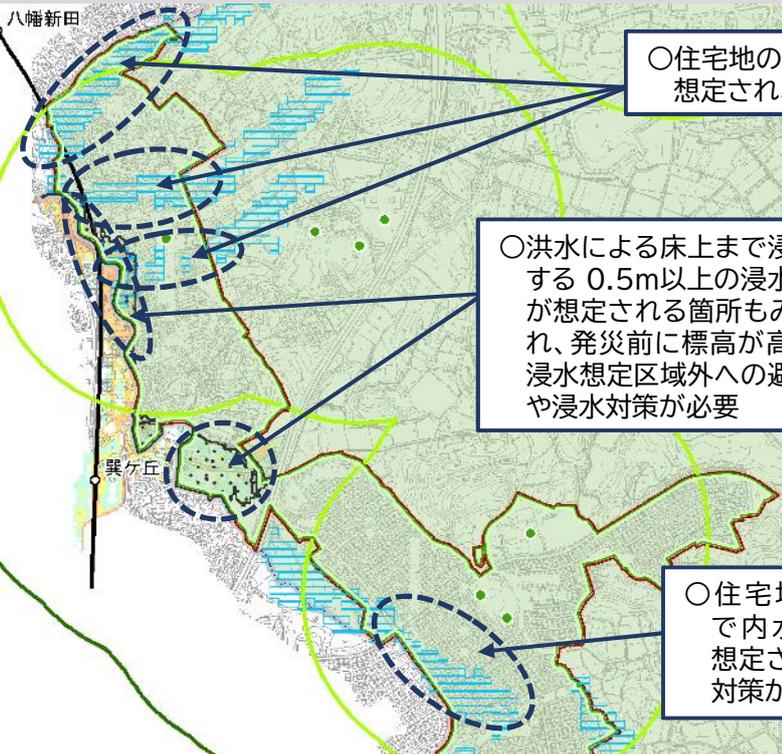


○市街化区域内の市街地において大規模盛土造成地がみられ、調査が必要



土砂災害警戒区域内建物(市街化区域内 0棟、居住誘導区域内 0棟)

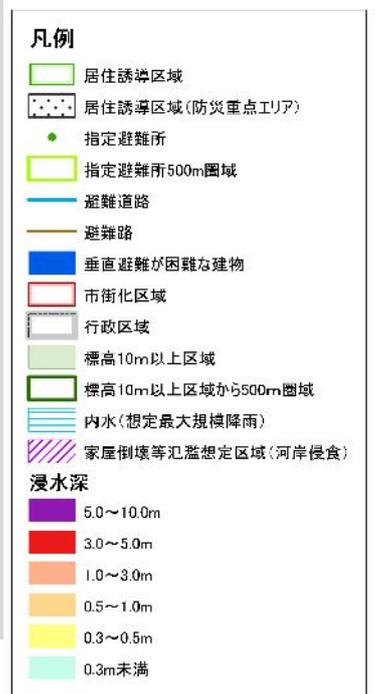
■洪水浸水想定区域(想定最大規模)・内水浸水想定区域(想定最大規模)



○住宅地の一部で内水浸水が想定され、排水対策が必要

○洪水による床上まで浸水する0.5m以上の浸水深が想定される箇所もみられ、発災前に標高が高い浸水想定区域外への避難や浸水対策が必要

○住宅地の一部で内水浸水が想定され、排水対策が必要



浸水想定区域内建物(市街化区域内 98棟、居住誘導区域内 98棟)  
 垂直避難が困難な住宅(市街化区域内 20棟、居住誘導区域内 20棟)

## 7-2 防災まちづくり取組方針の検討

### (1) 防災まちづくりの考え方の整理

- 土砂災害が想定されている地区については、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあり、一部で住宅が立地していることを踏まえ、居住誘導区域から除外することとしました。こうした考え方と整合し、住宅の立地を誘導しません。
- 水害（洪水、津波、高潮など）については、市街化区域の住宅地において顕著な人口密度の低下が想定される地区は見られないため、現在のコンパクトな市街地を継続していく必要があることから、浸水が想定される地域であっても居住誘導区域とし、今後も一定以上の人口集積を図っていきます。ただし、防災重点エリアに位置付けることで、必要な避難対策を講じていくとともに、災害ハザードの情報提供の更なる充実を図り、復興対策を含む事前の防災まちづくりを進めていきます。
- こうした居住誘導区域（防災重点エリア）に位置付けた地域においては、どの程度の浸水が生じるかを事前に判断することは難しく、想定最大規模の災害はいつでも起こりうることを踏まえ、想定最大規模などのL2の想定を基に関係機関、庁内各課が連携して自助・共助・公助によるソフト対策を中心とした取組を検討することとします。
- ハード対策については、想定最大規模などのL2への対応は莫大な費用と期間を要するため現実的ではなく、これまでどおり計画規模（L1）の想定に基づいたハード対策を国や県とも協力しながら順次進めていきます。

### (2) 取組方針

- 災害時に被害が発生しないようにする（回避する）「災害リスクの回避」、ハード対策やソフト対策による「災害リスクの低減」の考え方により、本町における取組方針を整理します。
- 災害ハザードが想定されている居住誘導区域（防災重点エリア）については、防災施設整備などによるハード対策、災害リスクの周知や避難対策・事前の防災まちづくり（復興対策を含む）などによるソフト対策の両面から災害リスクの低減を図ります。

取組方針	土砂災害	水災害
災害リスクの回避	○土地利用の誘導 ○居住誘導区域からの除外	—
災害リスクの低減 (ハード)	○土砂災害を防止する施設の整備 ○避難施設の確保 ○道路ネットワークの構築	○河川・海岸堤防などのハード対策[L1] ○排水対策[L1・L2] ○ため池の耐震化 ○避難施設の確保[L1・L2] ○道路ネットワークの構築[L1・L2]
災害リスクの低減 (ソフト)	○災害リスクの周知[L1・L2] ○避難対策・事前の防災まちづくり[L1・L2]	

■地区別の取組方針

土砂災害が想定される地区

土砂

【災害リスクの回避】

- 土地利用の誘導
- 居住誘導区域から除外

【災害リスクの低減（ハード）】

- 土砂災害を防止する施設の整備

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

JR 尾張森岡駅周辺

洪水・内水・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策

○ため池の耐震化

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

JR 緒川駅周辺

洪水・内水・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

JR 石浜駅周辺

洪水・内水・津波・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策

○ため池の耐震化

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

JR 東浦駅周辺【鉄道東側】

洪水・津波・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- ため池の耐震化

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

JR 東浦駅周辺【鉄道西側】

洪水・内水・津波・ため池・高潮

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川・海岸堤防の整備
- 排水対策

○ため池の耐震化

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

名鉄翼ヶ丘駅周辺

洪水・内水・ため池

【災害リスクの低減（ハード）】

- 河川堤防の整備
- 排水対策

○ため池の耐震化

○避難施設の確保

○道路ネットワークの構築

【災害リスクの低減（ソフト）】

- 災害リスクの周知
- 避難対策

凡例

市街化区域

行政区域

洪水浸水想定区域(想定最大規模)

ため池浸水想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

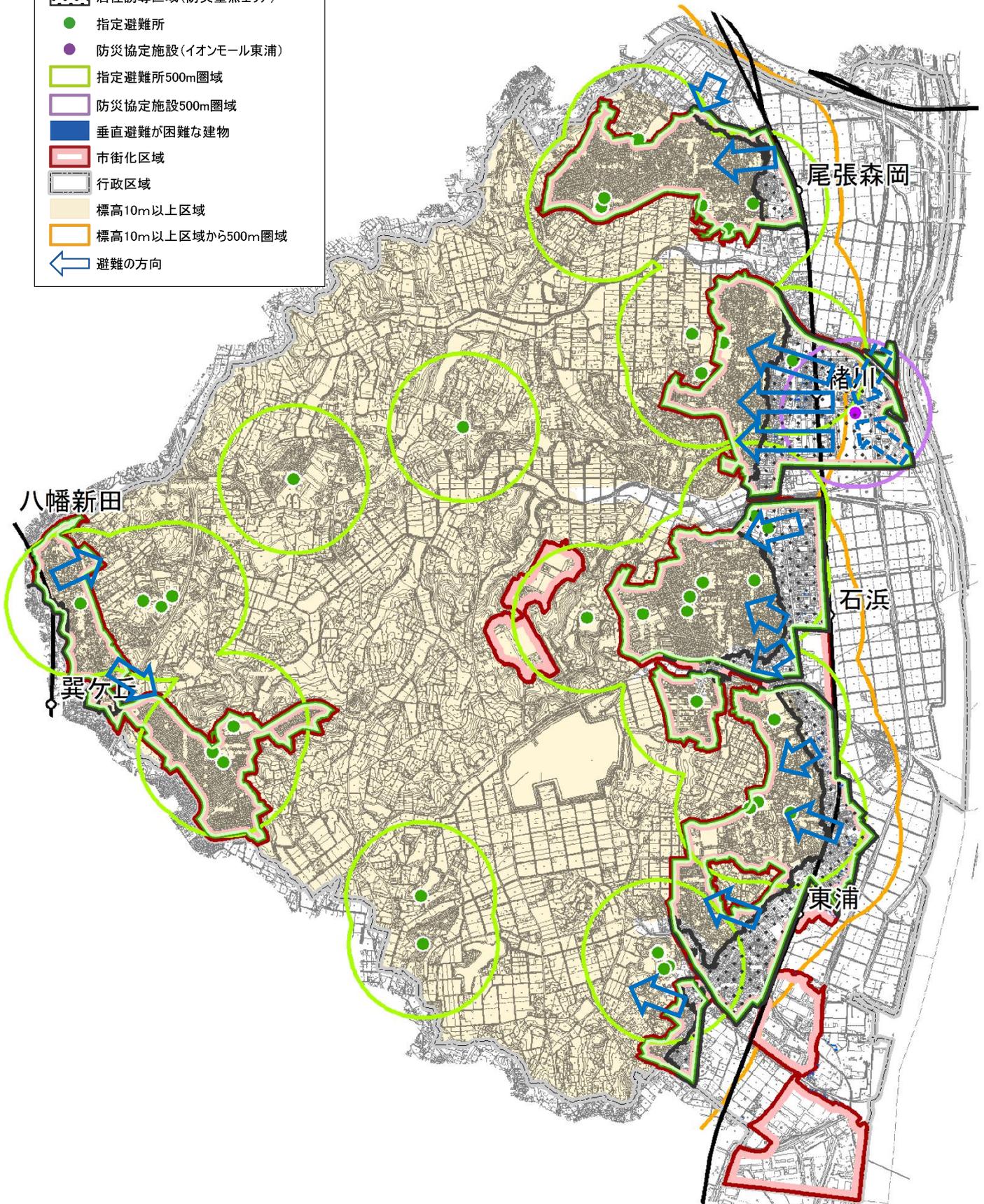
津波災害警戒区域

高潮浸水想定区域(室戸台風級)

■町全体の避難対策イメージ

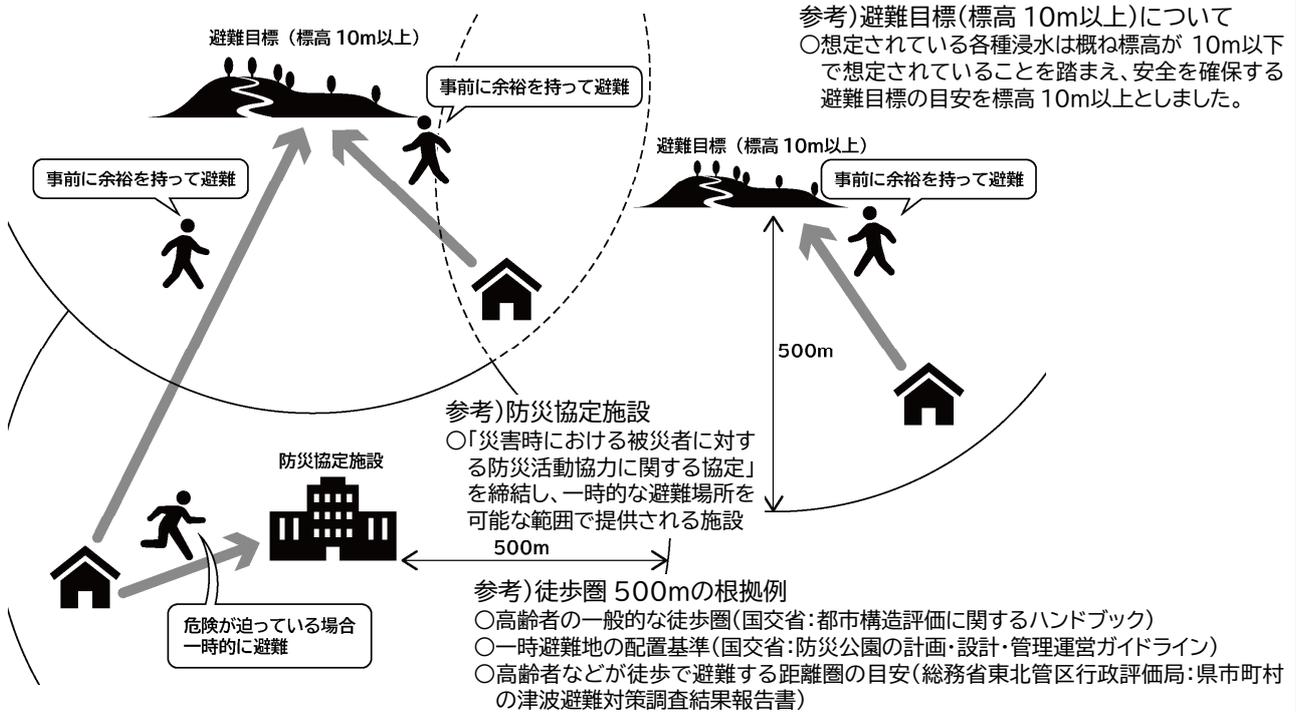
凡例

- 居住誘導区域
- 居住誘導区域(防災重点エリア)
- 指定避難所
- 防災協定施設(イオンモール東浦)
- 指定避難所500m圏域
- 防災協定施設500m圏域
- 垂直避難が困難な建物
- 市街化区域
- 行政区域
- 標高10m以上区域
- 標高10m以上区域から500m圏域
- 避難の方向

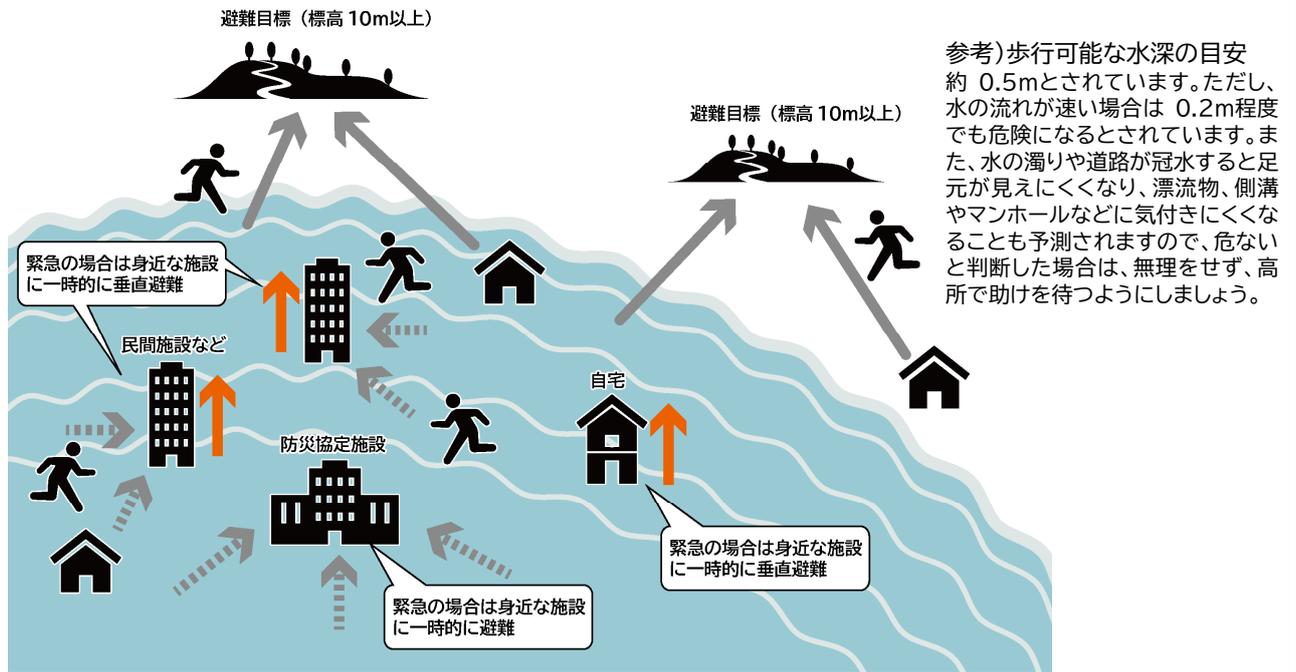


(参考) 避難圏域・避難距離の考え方の整理

- ・ 予報などの事前情報をみて余裕を持った事前の避難行動を行うことを基本とします。
- ・ 本計画では水害（洪水、津波、高潮など）を考慮し、避難距離を約 500m と想定しています。
- ・ 津波については、本町に到達するまでの約 83 分の間に、高齢者の歩行速度（夜間・液状化を考慮した場合 0.19m/s）で 500m 以上の距離を移動できる計算になります。（愛知県：市町村津波避難計画策定指針）
- ・ ただし、子ども、高齢者などの避難行動要支援者の避難対策は防災指針の具体的な取組で別途整理します。

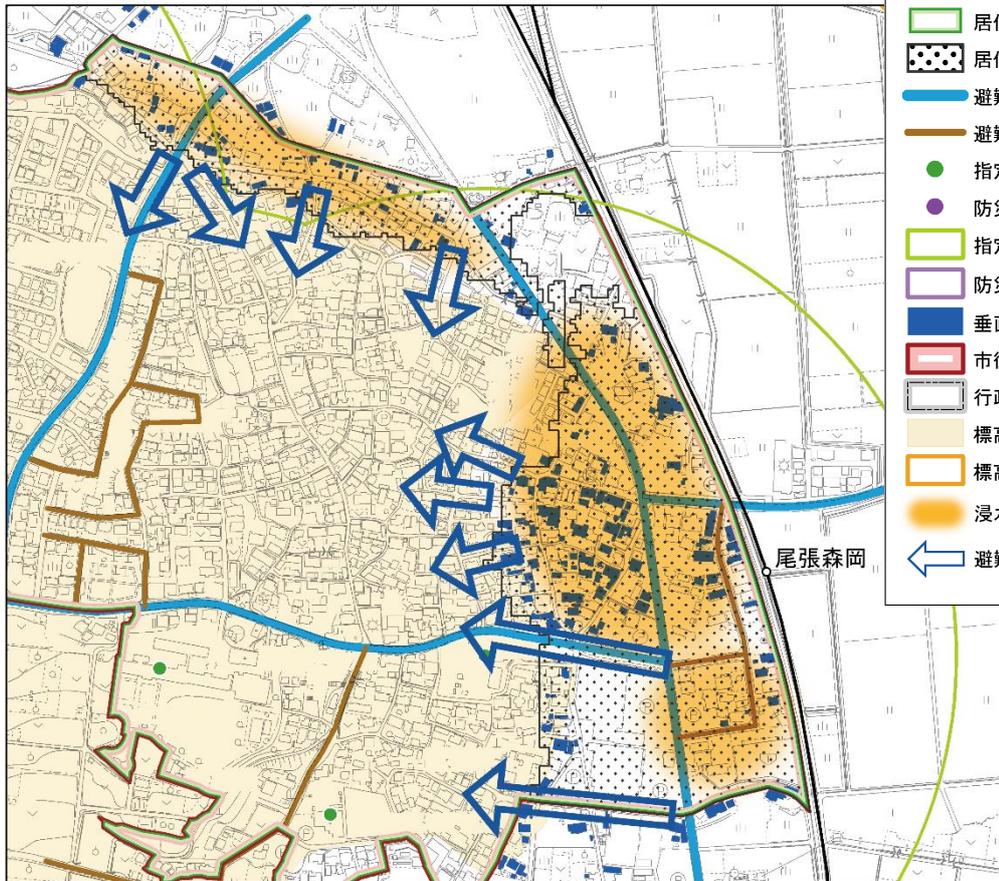


- ・ 災害における避難は、立ち退き避難を基本としていますが、突発的な降雨などにより、周囲がすでに浸水しているなど、外出することが危険な場合は、屋外のより安全な場所へ（身近な施設などを活用して）一時的に垂直避難を行います。
- ・ 浸水が想定されている地域（居住誘導区域（防災重点エリア））で、民間施設との防災協定を進めるなどの避難対策は防災指針の具体的な取組で別途整理します。



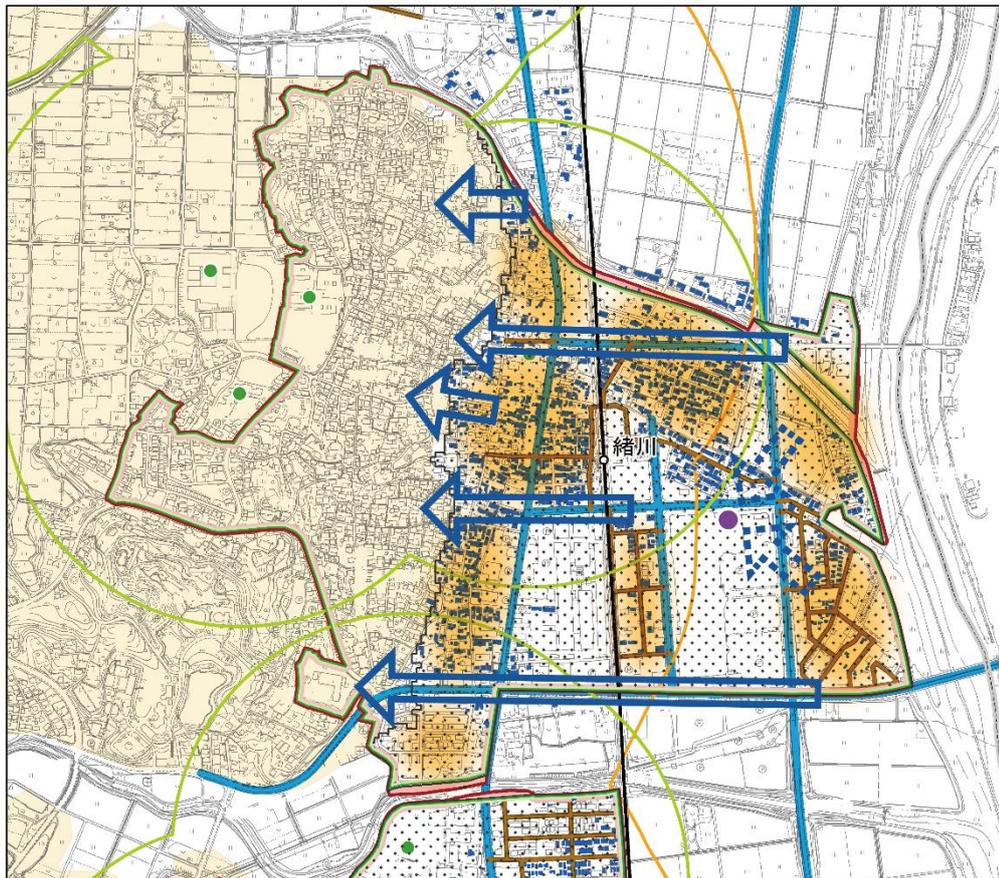
■地区別の避難対策イメージ

JR 尾張森岡駅周辺



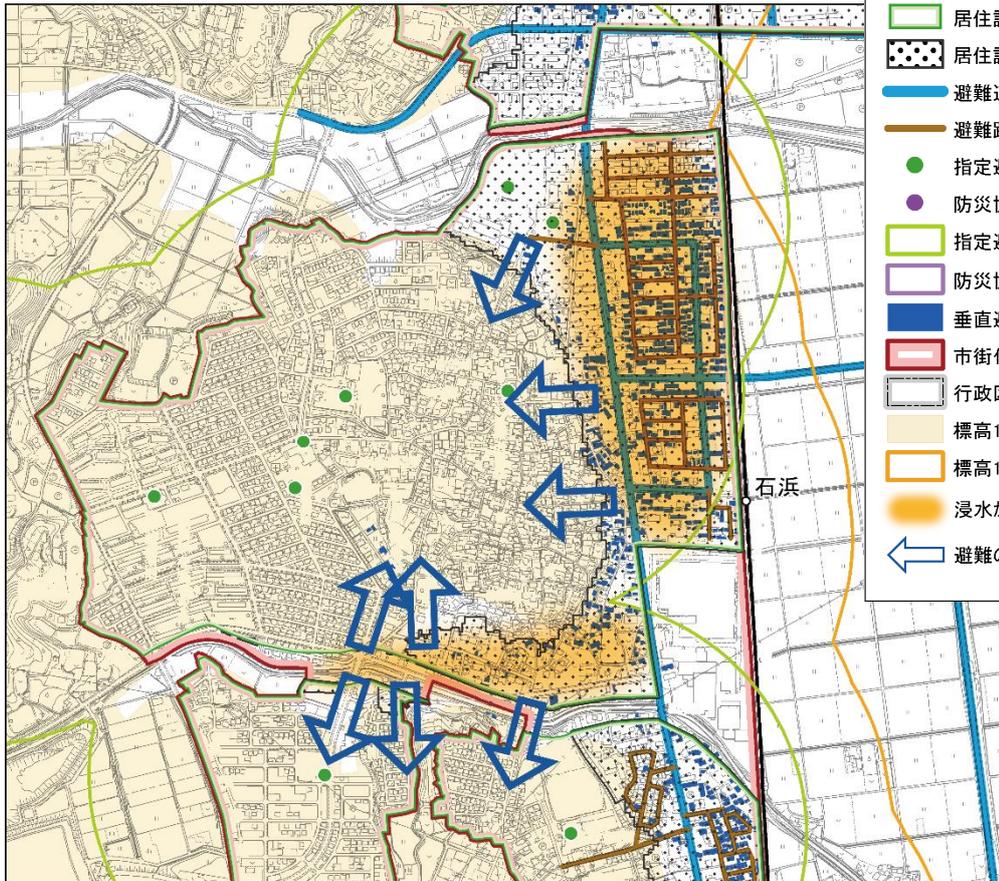
- 凡例
- 居住誘導区域
  - 居住誘導区域(防災重点エリア)
  - 避難道路
  - 避難路
  - 指定避難所
  - 防災協定施設
  - 指定避難所500m圏域
  - 防災協定施設500m圏域
  - 垂直避難が困難な建物
  - 市街化区域
  - 行政区域
  - 標高10m以上区域
  - 標高10m以上区域から500m圏域
  - 浸水が想定される市街地
  - 避難の方向

JR 緒川駅周辺



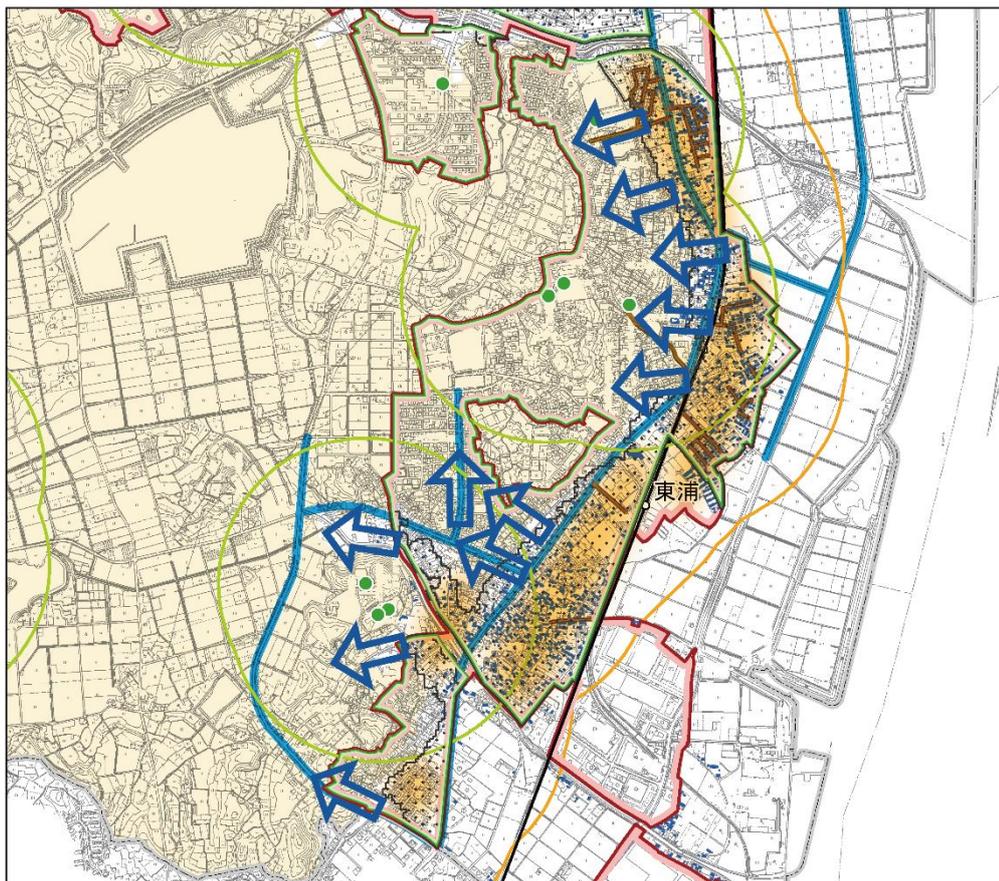
■地区別の避難対策イメージ

JR 石浜駅周辺



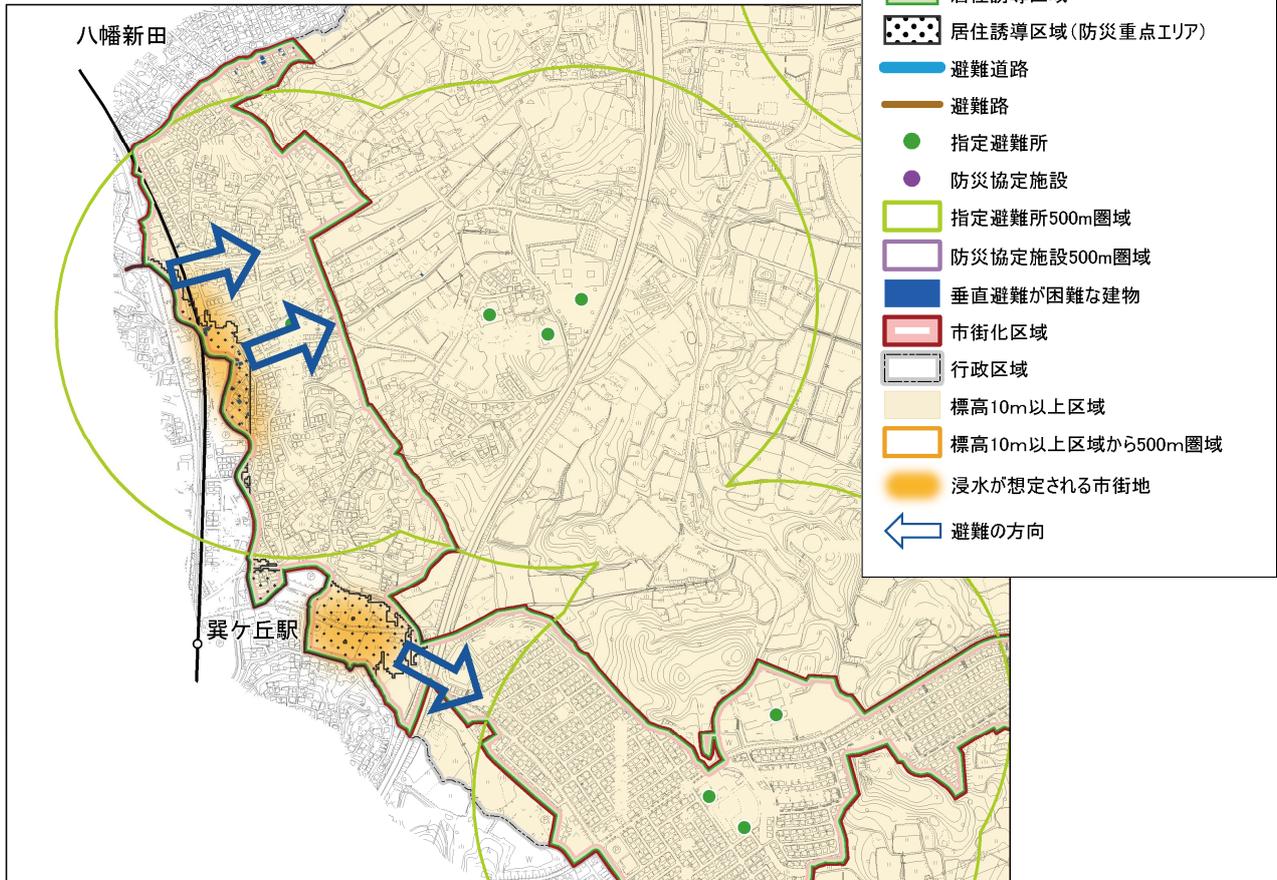
凡例	
	居住誘導区域
	居住誘導区域(防災重点エリア)
	避難道路
	避難路
	指定避難所
	防災協定施設
	指定避難所500m圏域
	防災協定施設500m圏域
	垂直避難が困難な建物
	市街化区域
	行政区域
	標高10m以上区域
	標高10m以上区域から500m圏域
	浸水が想定される市街地
	避難の方向

JR 東浦駅周辺



■地区別の避難対策イメージ

名鉄巽ヶ丘駅周辺



## 7-3 具体的な取組、スケジュール

取組方針に基づく本町における具体的な取組を以下に整理します。特に防災重点エリアに位置付けた地域に関わる取組については、自助・共助・公助による取組の円滑な推進について検討していきます。

### (1) 防災重点エリアに位置付けた地域で推進する主な取組

#### ■災害リスクの周知

- ・公表される最新の災害ハザード情報を載せたハザードマップを配布します。また、その情報を確認します。 **自助** **公助**
- ・ハザードマップの更新においては標高表示などの情報の充実を検討します。また、その情報を確認します。 **自助** **公助**
- ・防災や避難情報の周知をより一層図るため、自治組織への加入や自主防災活動への参加を推進します。 **自助** **共助**
- ・3D 都市モデルの整備・活用を推進し、分かりやすい災害ハザードの可視化による防災意識の向上に加え、防災政策の高度化の実現を検討します。 **自助** **公助**

#### ■避難施設の確保

- ・特に JR 緒川駅東側において、協定締結などによる民間施設の災害時支援協定などの拡充や追加を推進します。 **共助** **公助**
- ・地区計画制度の活用を検討します。(例：避難路、避難施設、雨水貯留浸透施設を地区施設として位置付け、居室の床面の高さの最低限度、敷地の地盤面の高さの最低限度などのルール化) **公助**
- ・避難場所（指定避難所）の確保（ハザード区域内の避難所やコロナ対策による収容量の減少対策など）を検討します。また、福祉避難所や車中泊避難所の確保・充実を検討します。 **公助**

#### ■避難対策

- ・マイ・タイム・ライン（個別防災行動計画）の作成を推進します。特に、自ら避難することが困難な避難行動要支援者ごとの避難支援などを実施するため、個別避難計画の作成を推進します。 **自助** **共助** **公助**
- ・想定されている災害ハザードに基づいた避難訓練の実施を図ります。 **共助**
- ・想定されている災害ハザード情報を踏まえた地域における自助・共助の取組について話し合うワークショップの開催を支援するなど、事前の防災まちづくりの取組を推進します。 **自助** **共助** **公助**
- ・地域の特性に応じた避難対策のため、避難上のボトルネックの検証や津波などの避難シミュレーションの実施を推進します。 **自助** **公助**

#### ■ハード対策

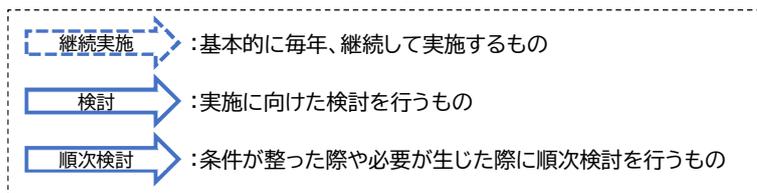
- ・高台へ安全に避難するための道路などの整備を推進します。 **公助**
- ・住宅嵩上げなどに対する補助について検討します。 **公助**
- ・公共施設の整備に際しては、災害ハザードの少ない区域への移転を検討すると共に、拠点や用地などにより、止むを得ない場合には、想定されている浸水に対応するハード対策を検討します。(例えば、地盤の嵩上げ、浸水対応の建築計画、一団地の都市安全確保拠点施設など) **公助**
- ・農地などを活用した雨水貯留などを推進します。 **公助**
- ・高潮対策施設などの整備を促進します。 **公助**

■その他

- ・関係機関、庁内各課が連携して取り組むため、庁内で連携などを図るための会議体を組織することを検討します。 **公助**

■防災重点エリアに位置付けた地域における具体的な取組及びスケジュール

具体的な取組	自助	共助	公助	実施主体	スケジュール		
					短期 5年	中期 10年	長期 20年
<b>■災害リスクの周知</b>							
ハザードマップの配布、標高標示などの情報の充実	●		●	町	継続実施		
自治組織への加入や自主防災活動への参加を推進	●	●		地域	継続実施		
3D都市モデルによる災害ハザードの可視化	●		●	町	検討		
<b>■避難施設の確保</b>							
協定締結などによる民間施設の災害時支援協定の拡充・追加		●	●	町	検討		
地区計画制度の活用			●	町	検討		
避難場所の確保の検討			●	町	継続実施		
<b>■避難対策</b>							
マイ・タイム・ラインや避難行動要支援者の個別避難計画の作成を推進	●	●	●	町・地域	継続実施		
災害ハザードに基づいた避難訓練の実施		●		地域	継続実施		
ワークショップの開催支援	●	●	●	町	継続実施		
津波避難などのシミュレーションの実施	●		●	町	継続実施		
<b>■ハード対策</b>							
高台へ避難するための避難路の整備			●	町	継続実施		
住宅嵩上げなどに対する補助			●	町	検討		
公共施設の整備(想定されている浸水に対応するハード対策検討)			●	町	順次検討		
農地などを活用した雨水貯留などの推進			●	町	継続実施		
高潮対策施設などの整備			●	国、県	継続実施		
<b>■その他</b>							
庁内連携などを図るための会議体を組織			●	町	検討		



## (2) 町全域で推進する施策

前項で整理した取組に加えて、関連計画に基づき、防災重点エリアを含めた町全域で推進する施策を以下に整理します。

種別	取組方針		施策 ■:東浦町地域強化計画、○:境川水系流域治水プロジェクト、●:その他
土砂災害	災害リスクの回避	土地利用の誘導	<p>■住居の安全な地域への誘導など【町・地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害リスクの見える化、建物などの立地に関する制度の活用などにより、災害リスクの高いエリアにおける立地の抑制、既存の住宅・建築物の安全な構造への改修及び同エリア外への移転を促進します。</li> </ul> <p>●土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生の予想が困難な土砂災害が懸念される土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域を居住誘導区域から除外します。</li> </ul>
	災害リスクの低減(ハード)	土砂災害を防止する施設の整備	<p>■土砂災害対策の推進(ハード対策)【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的被害を防止するため、ハード対策として土石流対策施設などの土砂災害に対する防止施設の整備を推進します。</li> </ul>
		避難施設の確保	<p>■地域の活動拠点施設の耐災害性の強化【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防施設などの地域の活動拠点となる施設や消防救急無線などの情報通信機能の耐災害性の強化、高度化を推進します。</li> </ul> <p>■避難所の耐震化などの推進【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所となる施設などの耐震改修やバリアフリー化、避難場所となる施設などの屋上部分などへの対空表示の標示を推進します。また、避難所における再生可能エネルギーなどの導入、ライフラインの確保などを促進します。</li> </ul>
	道路ネットワークの構築		<p>■輸送ルートの確保対策の実施【国・県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸送基盤の土砂災害対策などを進めるとともに、道路整備や耐震強化を図ります。</li> </ul> <p>■交通渋滞による避難の遅れの回避【国・県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通渋滞による避難の遅れを回避するため、自動車避難のルールの検討、道路の液状化対策、道路橋の耐震補強、斜面对策などを推進します。</li> </ul> <p>■道路ネットワークの整備、道路の災害対策の推進【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の防災、地震対策や耐津波強化対策を進めるとともに、津波、洪水、高潮、土砂災害対策などの地域の防災対策を推進します。</li> </ul> <p>■輸送ルート確保の強化【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路橋梁の耐震補強、土砂災害対策、その他交通施設に関する耐震化、耐水対策を実施し、交通施設の閉塞を防ぐ周辺の対策を推進します。</li> </ul>
災害リスクの低減(ソフト)	災害リスクの周知・意識啓発	<p>■土砂災害対策の推進(ソフト対策)【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒情報その他の防災情報の提供、避難訓練をはじめとする啓発活動により、平時及び異常気象時における、土砂災害の危険性の周知を推進します。</li> </ul> <p>■大規模盛土造成地の宅地防災計画【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模盛土造成地の調査及び事前対策を推進します。また宅地所有者による自主的な取組を促すため、大規模盛土造成地マップの周知を推進します。</li> </ul>	

種別	取組方針		施策 ■:東浦町地域強靱化計画、○:境川水系流域治水プロジェクト、●:その他
	災害リスクの低減(ソフト) 【続き】	災害リスクの周知・意識啓発 【続き】	<p>■<b>地域コミュニティ力の強化に向けた行政などの支援</b>【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が起きた時の対応力を向上させるため、ハザードマップの見直しや訓練・防災教育、防災リーダーの育成などを通じた地域づくり、災害の事例や研究成果など共有により、地域コミュニティ力の構築を推進します。また、強化するための支援などについて、関係機関が連携し充実を図ります。</li> </ul> <p>■<b>効果的な教育・啓発の実施</b>【町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの見直し・周知など早期避難に繋がる効果的な教育・啓発の取組を推進します。</li> </ul>
		避難対策	<p>■<b>警戒避難体制の整備など</b>【町・民間・地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身を守る行動のとり方などについて、学校や職場、地域の自主防災組織などを通じ、防災訓練や防災計画の普及・啓発などにより防災教育などを推進します。</li> </ul> <p>■<b>住民などの自発的な防災行動の促進</b>【町・地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画の普及・啓発などにより、住民などの自発的な防災活動に関する計画策定を促進します。</li> </ul>
水害	災害リスクの回避	—	—
	災害リスクの低減(ハード)	河川・海岸堤防などのハード対策	<p>○<b>雨水貯留浸透施設設置の支援</b>【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水貯留浸透施設設置の支援を推進します。</li> </ul> <p>■<b>河川・海岸堤防の耐震化など</b>【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波などによる浸水を防ぐため、堤防の耐震化などを促進します。また、粘り強い構造への強化などを促進します。</li> <li>・河川・海岸の堤防、水門、排水機場などの耐震化、老朽化対策などを推進します。</li> </ul> <p>■<b>河川・海岸の樋門・排水機場などの耐震化の推進</b>【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川の河口部や海岸にある樋門や排水機場などが、地震後も操作が可能となるよう耐震補強などを推進します。</li> </ul> <p>■<b>高潮対策施設の整備</b>【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸地域においては、海岸保全施設や河川堤防の高上げ、排水機場の整備などの高潮対策を推進します。</li> </ul> <p>■<b>ため池の防災対策の推進</b>【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用ため池や調整池について老朽化対策や地震対策を推進します。</li> </ul> <p>○<b>河道拡幅・河床掘削</b>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・境川・逢妻川の下流部での流下能力不足を解消するため、河道拡幅・河床掘削を実施します。</li> </ul> <p>■<b>防災インフラの耐震化・液状化対策などの推進</b>【県・町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川・海岸堤防などの防災インフラについては、住民の生命・財産を守るために耐震化・液状化対策などを進めるとともに、津波被害リスクが高い河川・沿岸部において、堤防の高上げ、水門などの自動化・遠隔操作化などの整備を推進します。</li> </ul>

種別	取組方針	施策 ■：東浦町地域強靱化計画、○：境川水系流域治水プロジェクト、●：その他
	災害リスクの低減(ハード) 【続き】 河川・海岸堤防などのハード対策 【続き】	<p><b>■排水機場などの防災対策の推進【国・県・町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排水不良による浸水の長期化を防ぐため、排水機場などの耐震化を推進します。また、排水機場などは常に施設機能の効果を発揮させる必要があるため、計画的な整備・維持管理を推進します。</li> </ul> <p><b>■ため池の防災対策の推進【国・県・町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ため池などの農業水利施設などの耐震化などの施設整備を推進します。</li> </ul> <p><b>■公共下水道の整備推進【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道雨水整備について、「雨水管理総合計画」に基づき、特に浸水被害のあった緊急度の高い地域から優先的に整備を推進します。</li> </ul>
	避難施設の確保	<p><b>■地域の活動拠点施設の耐災害性の強化【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防施設などの地域の活動拠点となる施設や消防救急無線などの情報通信機能の耐災害性の強化、高度化を推進します。</li> </ul> <p><b>■避難所の耐震化などの推進【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所となる施設などの耐震改修やバリアフリー化、避難場所となる施設などの屋上部分などへの対空表示の標示を推進します。また、避難所における再生可能エネルギーなどの導入、ライフラインの確保などを促進します。</li> </ul> <p><b>■防災拠点の耐震化などの推進【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災拠点として位置付けられている公共施設などの耐震化については、その防災上の機能及び用途に応じ想定される地震及び津波に対して耐震化や水害対策などを推進します。</li> </ul>
	道路ネットワークの構築	<p><b>■輸送ルートの確保対策の実施【国・県・町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>輸送基盤の地震、津波、洪水、高潮対策などを進めるとともに、道路整備や耐震強化を図ります。</li> </ul> <p><b>■道路ネットワークの整備、道路の災害対策の推進【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路の防災、地震対策や耐津波強化対策を進めるとともに、津波、洪水、高潮、土砂災害対策などの地域の防災対策を推進します。</li> <li>冠水時の通行止めにより、地域の道路ネットワークが分断されないよう、排水ポンプ増強を検討するなど、道路ネットワークの耐災害性の強化を図ります。</li> </ul> <p><b>■交通施設の防災対策の推進【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路橋梁の耐震補強や施設の耐震化、液状化対策、津波対策、浸水対策など、交通インフラそのものの強化及び周辺の対策を推進します。</li> </ul> <p><b>■輸送ルート確保の強化【県・町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路橋梁の耐震補強、土砂災害対策、その他交通施設に関する耐震化、耐水対策を実施し、交通施設の閉塞を防ぐ周辺の対策を推進します。</li> </ul> <p><b>■幹線交通分断に伴うリスクの想定及び対策の推進【県・町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地震や津波、洪水、高潮などの浸水想定を踏まえ、幹線交通が分断するリスクの想定とともに対策を検討します。</li> </ul> <p><b>■沿道の住宅・建築物の耐震化の促進【町】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿道の住宅・建築物については、所有者の耐震化の必要性に対する認識を高めることや、住宅や耐震診断義務付け対象建築物への耐震診断・耐震改修などの対策を促進します。</li> </ul>

種別	取組方針	施策 ■:東浦町地域強靱化計画、○:境川水系流域治水プロジェクト、●:その他
	災害リスクの低減(ソフト) 災害リスクの周知・意識啓発	<b>■○洪水ハザードマップの見直し【町】</b> ・公表される浸水想定区域に基づき、洪水ハザードマップを随時見直し、町民への周知・啓発を行います。 <b>■効果的な教育・啓発の実施【町】</b> ・ハザードマップの見直し・周知など早期避難に繋がる効果的な教育・啓発の取組を推進します。 <b>■個別企業BCP策定などの促進【町・民間】</b> ・個別企業のBCPについては、中小企業活性化補助金による策定などの支援を行い、普及活動を推進します。
	避難対策	<b>■○マイ・タイム・ラインの作成支援【県・町・地域】</b> ・最大規模の洪水・高潮などに係る浸水想定を踏まえ、関係機関が連携した広域避難、救助・救急・緊急輸送などができるよう、協働してタイムラインの策定を検討します。 ・大型台風などの接近時などの実際のオペレーションについて、関係者が情報を共有し、連携しつつ対応を行うための関係者一体型タイムラインの策定を検討します。 <b>■避難場所・避難路の誘導・拡充など【町・民間】</b> ・著しい浸水が生じるおそれがある地域については、迅速な高台への避難を行うことができるように、避難誘導表示板などの拡充を図ります。 <b>■継続的な防災訓練や防災教育の推進など【町・地域・民間】</b> ・学校や職場、地域の自主防災組織などを通じ、継続的に防災訓練や防災教育などを推進します。 <b>■地域コミュニティ力の強化に向けた行政などの支援【町】</b> ・災害が起きた時の対応力を向上するため、ハザードマップの見直しや訓練・防災教育、防災リーダーの育成などを通じた地域づくり、災害の事例や研究成果などの共有により、地域コミュニティ力の構築を推進します。また、強化するための支援などについて、関係機関が連携し充実を図ります。 <b>■住民などの自発的な防災行動の促進【町・地域】</b> ・防災計画の普及・啓発などにより、住民などの自発的な防災活動に関する計画策定を促進します。 <b>■交通渋滞による避難の遅れの回避【国・県・町】</b> ・交通渋滞による避難の遅れを回避するため、自動車避難のルールの検討、道路の液状化対策、道路橋の耐震補強、斜面对策などを推進します。 <b>■避難の円滑化・迅速化【町】</b> ・災害発生前のリードタイムを考慮した避難ができるよう避難に関するタイムラインや避難計画の策定、これらに基づく避難訓練の実施などを促進するための方策を検討し、避難の円滑化・迅速化を図るための取組の充実を図ります。